ICOM

取扱説明書

WAVEMASTER®

VoIP PHONE

VP-701

Icom Inc.

ご使用になる前に 1

クイック導入ガイド 2

電話の使いかた 3

メニュー画面について 4

機能の割り当て 5

ご参考に 6

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、24個のフレキシブルボタン、カーソルキーを備えたIP多機能電話機です。

弊社製VoIP機器の簡易中継サーバ機能を利用して、内線および外線通話ができます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

※本書では、弊社製VoIP機器の接続および設定などは完了しているものとして説明しています。

【重要】

本製品を商用IP電話業者の回線や公衆電話回線で使用する場合は、簡易中継サーバ機能搭載の弊社製VoIP機器に接続することで発着信できます。

※本書で記載するSIPサーバは、弊社製VoIP対応機器(簡易中継サーバ)への接続を意味します。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、ICOM、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本書の説明用の画面は、実際の画面と字体や形状が異なっていたり、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本製品の概要について

◎簡易中継サーバ※1に接続する本製品から、外線への発信や外線からの着信ができます。※2

◎内線からの着信と外線からの着信を、着信音※3とランプにより識別できます。

◎24個のフレキシブルボタンを搭載し、「外線キー」「ワンタッチ」「不在転送」「不応答転送」「話中転送」「音声呼出」「パーク」機能を簡易中継サーバから割り当てられます。

◎「外線キー」(フレキシブルボタン)のランプで、外線の使用状況が確認できます。

◎本製品の電話帳は、弊社製VoIP機器で設定する※4共通電話帳(最大300件)、設定グループ電話帳(最大100件)と、VP-701ごとに登録できる個別電話帳(最大599件)で構成されています。

◎着信履歴(不在・通話)は60件、発信履歴は30件まで記憶できます。

◎通話中の相手を保留、または転送できます。

◎3.5インチの大型カラー液晶ディスプレイを搭載し、ディスプレイ部分は手前に0度～45度の範囲で傾けて使用できます。

◎ボイスメール機能※5(留守番電話)を搭載しているので、不在時※6にメッセージを流し、相手の用件を録音できます。

◎スピーカボタンを押して発信や応答すると、ハンズフリーで通話できます。

◎電話機の基本機能以外に、スケジュール、メモ帳、アラーム、電卓、カレンダー機能を搭載しています。

◎[IEEE802.3af]に準拠したPoE受電機能に対応していますので、「イーサネット電源供給ユニット(弊社別売品)」、または市販の[IEEE802.3af]規格対応HUBから電源を供給できます。

※1　本書で記載の簡易中継サーバは、弊社製VoIP機器に搭載の簡易中継サーバ機能を意味します。
※2　「外線キー」機能をフレキシブルボタンに割り当てていない場合は、外線を使用できません。
※3　着信音の種類は簡易中継サーバで設定するため、VP-701側では選択できません。
※4　簡易中継サーバで設定した共用電話帳を、VP-701側では編集できません。
※5　出荷時、ボイスメール機能は「無効」に設定されています。
※6　簡易中継サーバまたは本製品で「不在転送設定」をした場合を除きます。

はじめに

取り扱い上のご注意

◎本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。
本製品が原因で発生したいかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎本製品が対応しているインターネット･プロトコルは、「IPv4」です。
※「IPv6」には対応していません。

◎動作中に接続ケーブルなどが外れたり、接続が不安定になると、誤動作の原因になります。コネクターをしっかり接続してください。
動作中は、コネクターの接続部に触れないでください。

◎モデムおよびパソコンやその他の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

◎本書の著作権およびハードウェア、ソフトウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。

◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、アイコムホームページでお受けしています。
インターネットから、「http://www.icom.co.jp/」にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム（サポート情報→ユーザー登録）にしたがって必要事項をご記入ください。
ご登録いただけない場合、サポートサービスをご提供できませんのでご注意ください。

取扱説明書の構成について

本書では、別紙の簡単ご利用ガイドに記載の内容以外で知っておいていただきたい機能や本製品の一般的な使用方法について説明しています。

取扱説明書(本書/CD収録)

本製品のおもな機能の説明と基本的な操作方法、弊社製VoIP機器側で設定できる詳細な機能について、本書を順番に読みながら設定できるように構成されています。

簡単ご利用ガイド(別紙)

本製品を内線電話としてご利用いただくための簡単ご利用ガイドです。

ご注意と保守について (別紙)

本製品を安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「　」表記：オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティー、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を(「」)で囲んで表記します。

[　]表記：タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名を([ ])で囲んで表記します。

〈　〉表記：ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(〈 〉)で囲んで表記します。

※本書は、Ver 1.4のファームウェアを使用して説明しています。

※本書では、紙面上の都合により、設定画面の一部を省略して掲載しています。

※本書で掲載しているVP-701の画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

はじめに

ご使用までの流れ

本製品を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。
順番に基本的な設定ができる構成になっています。
※右端に記載する数字は、本書の参照箇所です。

Step. 1	梱包内容を確認	**簡単ご利用ガイド(別紙)**
Step. 2	各部の名称と機能	**1章**
Step. 3	設置場所の確認	**1章**
Step. 4	電源を入れて初期設定をする	**2章**
Step. 5	電話の使いかた	**3章**
Step. 6	メニュー画面について	**4章**
Step. 7	機能の割り当て	**5章**
ご参考に	困ったときは？	**6章**

本製品を設定するために必要な、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側の項目です。
※設定をはじめる前に、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の設定を完了してください。
詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

「内線設定」メニュー	「子機内線設定」画面	子機内線設定	内線番号
			パスワード
「ネットワーク設定」メニュー	「LAN側IP設定」画面	本体名称／IPアドレス設定	IPアドレス

説明ページの構成について

本書は、次のような構成で操作手順を説明しています。

章番号/章タイトル

番号/大タイトル

操作手順
メニューから項目へ、操作手順を説明しています。

表示画面
操作中または操作後に表示される画面です。

補足説明
注意事項や操作上のアドバイスなどについて、説明しています。

もくじ

はじめに――――――――――――――――――――――――――――――――i
もくじ――――――――――――――――――――――――――――――――vii

第1章 ご使用になる前に 1

1. 各部の名称と機能…… 2
2. 設置について…… 8
3. 接続する／電源を入れる…… 11
4. メニューについて…… 12

第2章 クイック導入ガイド 13

Step1. 電話機の準備…… 14
Step2. 管理者設定…… 15
Step3. ネットワーク設定…… 16
Step4. SIP設定 …… 17
Step5. 保守サーバIPアドレス …… 18
Step6. 登録の確認/再起動 …… 19

第3章 電話の使いかた 21

1. 電話をかけるには(外線発信)…… 22
2. 電話がかかってきたときは(外線着信)…… 25
3. 自分以外にかかってきた電話に応答するには(代理応答)26
4. 発信履歴からかけなおすには(リダイヤル)…… 27
5. 着信履歴からかけるには…… 28
6. 電話帳に登録するには…… 29
7. 文字を入力するには…… 30
8. 電話帳から電話をかけるには…… 32
9. ワンタッチで電話をかけるには…… 33
10. 通話相手に待ってもらうときは(自己保留)…… 34
11. 電話を取り次ぐには(パーク保留/応答) …… 35
12. 電話を取り次ぐには(転送)…… 39
13. 内線で通話するには(内線発信)…… 41
14. 不在や通話中などで応答できないときは…… 43

第4章 メニュー画面について 47

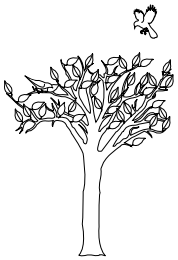
1. 音設定…… 48
2. スケジュール…… 51
3. 画面設定…… 55
4. ボイスメール…… 57
5. 電話帳…… 61
6. アクセサリ…… 65
7. セキュリティ…… 67
8. T:メール…… 69
9. 環境設定…… 70

第5章 機能の割り当て 81

Step1. 電話設定について…… 82
Step2. 共通設定について…… 84
Step3. グループ別設定について…… 89

第6章 ご参考に 93

1. こんなときは…… 94
2. 設定項目の初期値一覧…… 97
3. アイコン一覧…… 98
4. 機能一覧…… 98
5. 外線設定について…… 99
6. 定格…… 102



ご使用になる前に

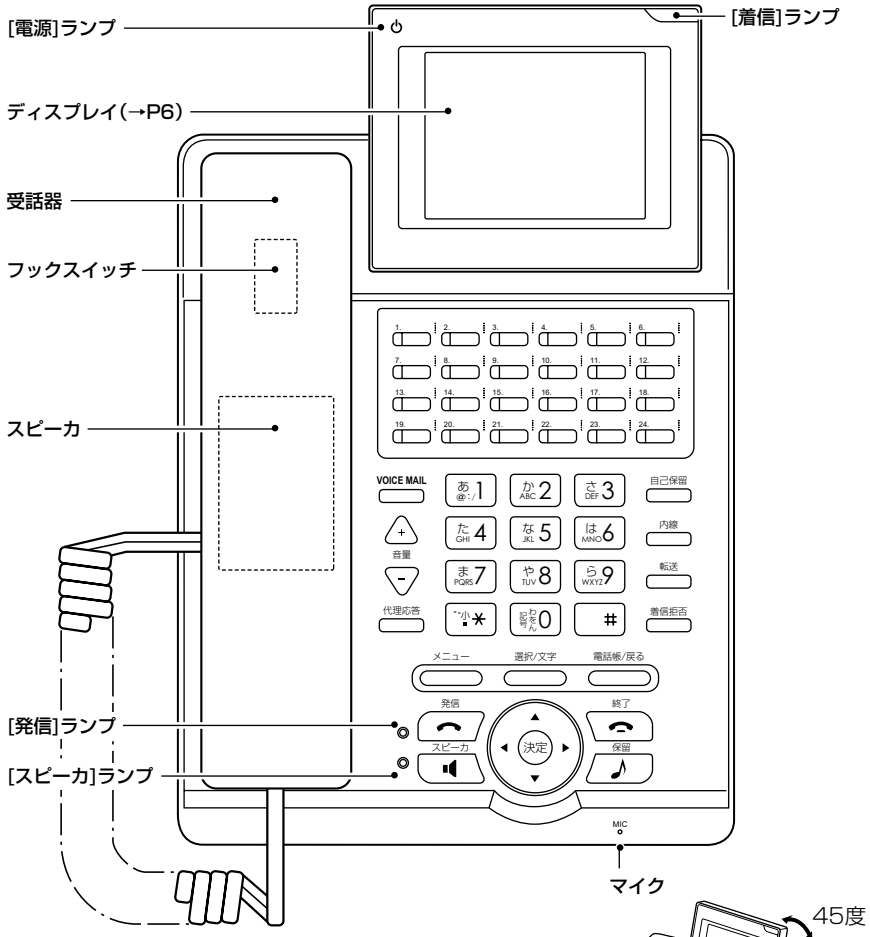
第 1 章

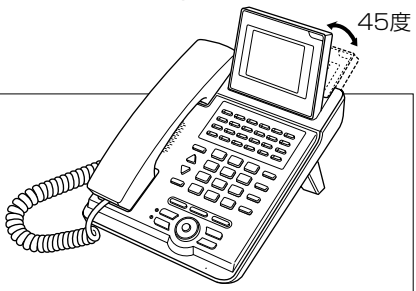
この章では、
本製品を使う前に必要な準備などを説明します。

1. 各部の名称と機能 …… 2
　前面部…… 2
　底面部…… 3
　操作部…… 4
　カーソルキー…… 5
　ディスプレイ…… 6
　ソフトキー…… 6
　ランプ表示…… 7
2. 設置について …… 8
　設置場所について…… 8
　PoE機能について …… 8
　PoEによる電源供給について …… 9
　PoE設置と接続のご注意 …… 10
3. 接続する／電源を入れる …… 11
4. メニューについて …… 12

1. 各部の名称と機能

前面部

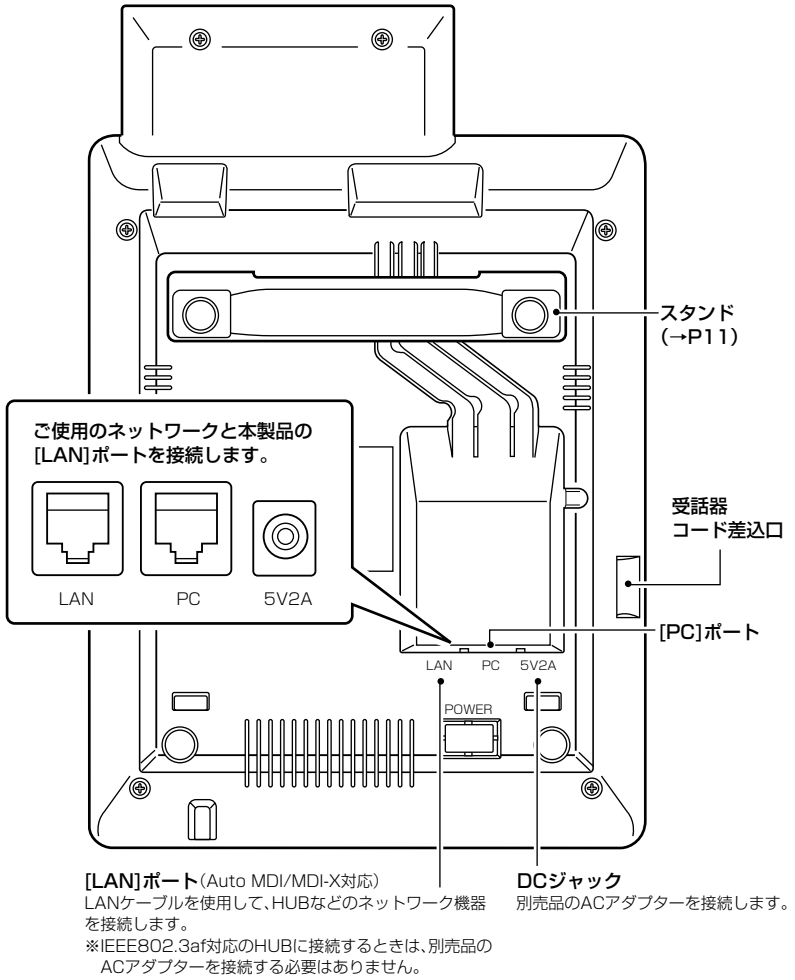




ディスプレイについて

移動などで持ち運ぶときは、ディスプレイ部分を直接持って運ばないでください。
また、傾きを調整するときは、無理に引っ張ったり、押し倒したりしないでください。
傷ついて破損し、故障の原因になります。

底面部



[LAN]ポート(Auto MDI/MDI-X対応)
LANケーブルを使用して、HUBなどのネットワーク機器を接続します。
※IEEE802.3af対応のHUBに接続するときは、別売品のACアダプターを接続する必要はありません。

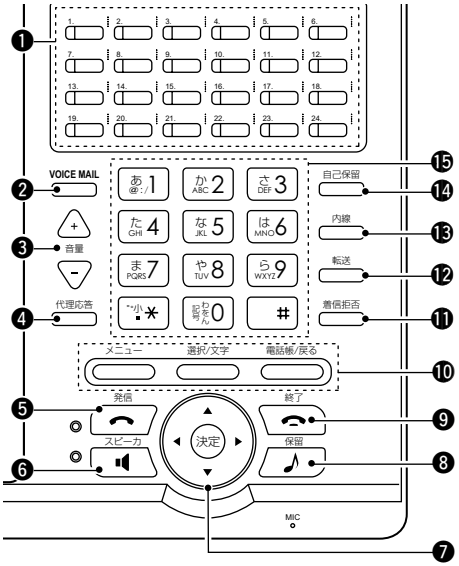
DCジャック
別売品のACアダプターを接続します。

[PC]ポートについて

[PC]ポートに接続できるパソコンは1台だけです。
HUBを使用して複数のパソコンを接続すると、通話がとぎれたり、ノイズが発生することがあります。
また、データ伝送量の多いパソコンやサーバ機器は[PC]ポートに接続しないでください。
接続しても十分な性能を発揮できないことがあります。

1. 各部の名称と機能

操作部



❶フレキシブルボタン(→P7)
ボタンごとに、外線、ワンタッチ、不在転送、パークなど、対応する弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)から機能を設定できます。

❷〈VOICE MAIL〉(→P7)
不在時に、電話をかけてきた相手に対して応答メッセージを流して用件を録音できます。

❸〈音量(＋/－)〉
キーの操作音を6段階で調整できます。受話器を上げたとき、また通話中に押すと、受話音量を5段階で調整できます。
※着信中に押すと、着信音量を6段階で調整できます。

❹〈代理応答〉(→P26)
他の電話機にかかってきた電話を、代わりに応答できます。

❺〈発信〉
ダイヤルした番号に発信します。

❻〈スピーカ〉
受話器を置いたまま通話できます。

❼カーソルキー(→P5)
画面上のカーソルを移動するために使用します。カーソルの移動はキーを上下左右に操作します。

❽〈保留〉(→P36)
通話中に押すと、他の電話機で応答できるパーク保留になります。

❾〈終了〉
通話を終了するために使用します。
通話中以外に押すと、操作を取り消します。

❿ソフトキー(→P6)
ディスプレイの下部に表示されている機能を実行するときに、対応するキーを操作します。

⓫〈着信拒否〉(→P44)
電話に応答できないときなど、あらかじめ着信を拒否できます。

⓬〈転送〉(→P39)
通話を保留して転送するときに押します。
※転送中に押すと、転送を中止して元の通話に戻ります。

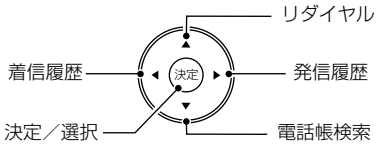
⓭〈内線〉(→P41)
内線で通話するときに使用します。

⓮〈自己保留〉(→P34)
通話中の相手にしばらく待ってもらうときに押します。
※他の電話機からは応答できません。

⓯ダイヤルキー
電話をかけるとき押します。
※本製品の電話帳の登録や検索するときも使用します。

カーソルキー

矢印の方向と同じ方向のキーを押して設定や画面などを進めることができます。



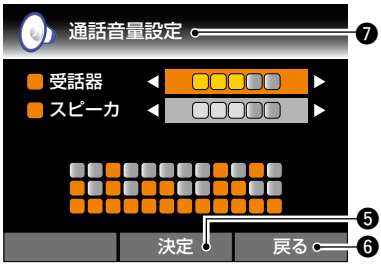
メニューを選択する場合
待受画面で、〈メニュー〉を押し、カーソルキーで選択して、〈決定〉を押します。

（表示例：電話帳メニュー）

1. 各部の名称と機能

ディスプレイ

（待受画面例）



（設定画面例）

❶自局番号(内線番号)
設定されていないとき、または電話機が使用できないときは空白です。

❷カレンダー表示
設定された日付のカレンダーを表示します。
※色分けは、日曜日だけです。

❸日時表示

❹〈メニュー〉の操作ガイド

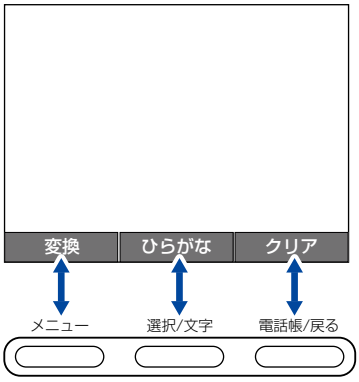
❺〈選択/文字〉の操作ガイド

❻〈電話帳/戻る〉の操作ガイド

❼設定画面名

ソフトキー

ディスプレイ下部の表示と動作
表示されている機能を実行するときは、対応するキーを押します。



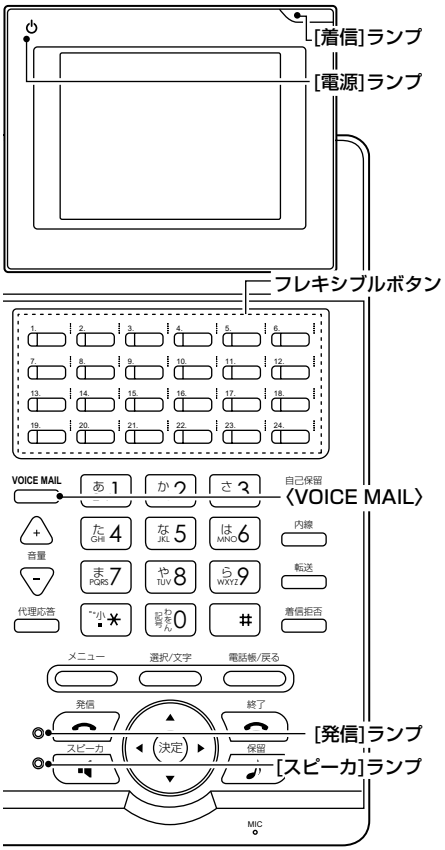
〈メニュー〉
待受画面で押すと、メインメニュー画面を表示します。
各設定画面では、詳細な操作メニューを表示し、また文字入力時は漢字に変換できます。

〈選択/文字〉
選択、決定、文字選択などを操作できます。

〈電話帳/戻る〉
電話帳メニュー表示、戻る、クリアなどを操作できます。
また入力した文字を１文字ずつ消去できます。

表示されるアイコンについて
電話帳や履歴などに表示されるアイコンについては、98ページをご参照ください。

ランプ表示



[着信]ランプ

点滅(緑)	内線着信時(リコール時含む)
点滅(赤)	外線着信時(リコール時含む)

[電源]ランプ

点灯(赤)	起動時、起動中

フレキシブルボタン(→P90)

〈パーク〉

低速点滅(緑)	パーク保留時
低速点滅(赤)	他の電話機でパーク保留時

〈外線キー〉

高速点滅(赤)	外線着信時
低速点滅(緑)	外線保留時
高速点滅(緑)	リコール時(外線保留/転送時)
低速点滅(赤)	他の電話機で外線保留時
点灯(緑)	外線使用時(通話中)
点灯(赤)	他の電話機で外線使用時

下記のキー機能が有効になると、緑点灯します。
〈不在転送〉 **〈話中転送〉**
〈不応答転送〉 **〈音声呼出〉**

〈VOICE MAIL〉

点滅(橙)	新着メッセージがあるとき
点灯(橙)	留守番電話設定時

[発信]ランプ

点滅(緑)	ダイヤル待ち状態
点灯(緑)	通話中

[スピーカ]ランプ

点灯(青)	スピーカー/マイク機能有効時

外線から着信したときは

自分の電話機に割り当てられている外線番号に着信すると、[着信]ランプが点滅(赤)して、〈外線キー〉は高速点滅(赤)になります。

※〈外線キー〉だけ高速点滅(赤)する場合は、外線着信時に電話機が鳴動しないように弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側で設定されています。

〈VOICE MAIL〉について

出荷時、ボイスメール機能は「無効」に設定されていますので、〈VOICE MAIL〉を押しても点灯しません。

ご利用される場合は、あらかじめ管理者設定画面で設定を変更してください。

※一斉着信時にボイスメール機能を設定した電話機があると、ボイスメールで応答するため、ほかの電話機に着信しませんのでご注意ください。

2. 設置について

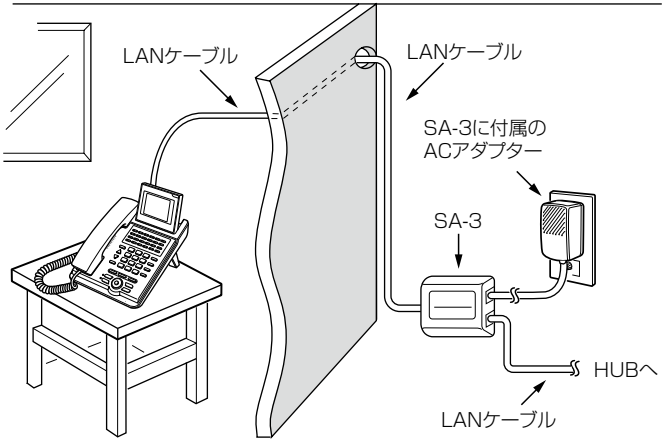
設置場所について

設置条件によっては、通信状態や速度に影響する場合がありますので、次のような場所に設置してください。

◎振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所
◎VP-701とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大長制限(100m)を超えないような場所
※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなることがあります。
◎その他、次のことを考慮して設置してください。
VP-701の上に物を置いたり、VP-701どうしやほかの製品と重ねて置いたりしないでください。

PoE機能について

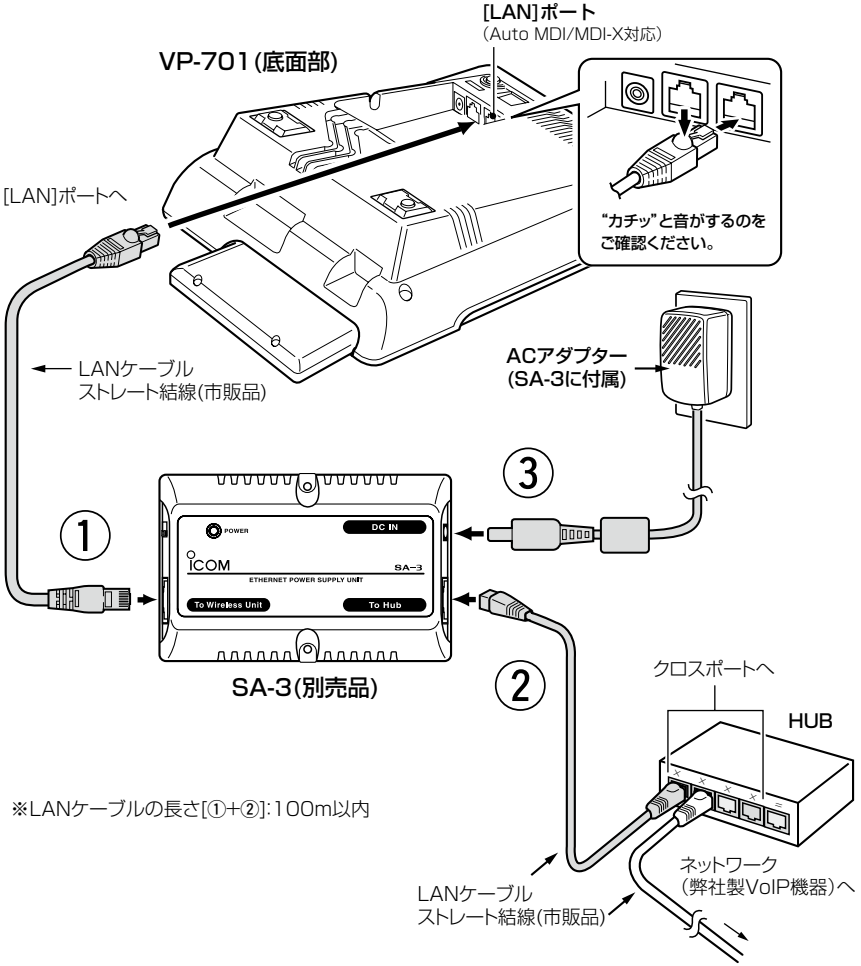
VP-701の設置場所から別売品のACアダプターが届く範囲内にコンセントがない場合、または[IEEE802.3af]規格対応のHUBがない場合に備えて、別売品イーサネット電源供給ユニット(SA-3)をご用意しています。
SA-3をお使いいただくことで、VP-701の[LAN]ポートから電源供給できます。
※[IEEE802.3af]規格対応のHUBでご使用になる場合は、別売品のACアダプターやSA-3を接続する必要はありません。



PoEによる電源供給について

VP-701の[LAN]ポートに接続されたLANケーブルとSA-3(別売品)を接続して、VP-701に電源を供給する接続方法について説明します。
下記の図に示す番号の順に接続します。

※SA-3の[POWER]ランプが点滅から点灯状態に切り替わらないときは、手順①で接続したLANケーブルを確認してください。



2. 設置について

PoE設置と接続のご注意

◎ 1台のSA-3(別売品)で、VP-701を1台だけ電源供給できます。

◎別売品のACアダプターは必要ありません。

◎SA-3には、電源が必要ですので、コンセントから近い場所に設置してください。

◎SA-3は、HUBなどのネットワーク機器とは異なり、リピーター機能は搭載されていません。
したがって、SA-3についてもLANケーブルの一部として、Ethernet規格の最大長制限(100m)に含まれますのでご注意ください。
※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなることがあります。

◎SA-3は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置できません。

◎接続に使用するLANケーブルは、すべてのピンが結線されたものをご使用ください。

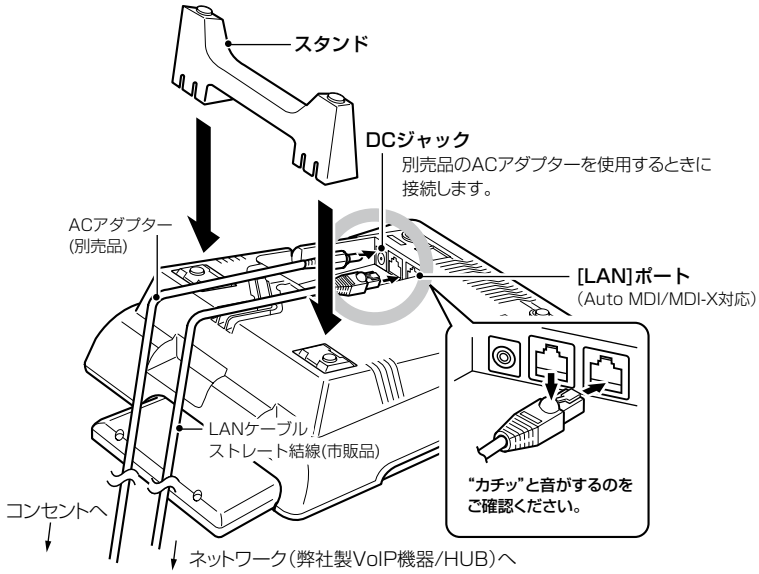
◎LANケーブルを接続後、SA-3のACアダプターを接続してから、SA-3の[POWER]ランプが点灯に切り替わる(起動する)まで、約10～15秒かかることがあります。

3. 接続する／電源を入れる

別売品のACアダプター使用時は、VP-701の電源を切ってから、LANケーブルを接続します。
電源を入れると、起動アニメーションを表示したあと、待受画面になります。

1 **弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)のネットワークにつながるLANケーブルを、[LAN]ポートに接続し、スタンドを取り付ける**

※HUBが802.3afに対応している場合は、別売品のACアダプターを接続する必要はありません。



2 **受話器のコードを受話器コード差込口に接続し、別売品のACアダプターなどをコンセントに接続して電源を入れる**

奥まで確実に差し込んでください。

ケーブルについて

100BASE-TX(高速有線LAN)通信をするには、カテゴリー5以上のLANケーブルを使う必要があります。
カテゴリーの低いものを同じLAN上に混用すると、一番低いグレードにあわせて全体のケーブル特性が低下するので、ご注意ください。

4. メニューについて

本製品のメニュー構成は、次のようになっています。
各メニューについて、詳しくは4章をご覧ください。

（メインメニュー）

1 音設定	1.着信音設定
	2.通話音量設定
	3.操作音設定
2 スケジュール	1.スケジュール
	2.メモ帳
3 画面設定	1.待受画面
	2.明るさ調整
4 ボイスメール	1.設定/解除
	2.受話履歴
	3.案内メッセージ選択
	4.セルフメッセージの録音
5 電話帳	1.電話帳検索
	2.新規登録
	3.グループ管理
6 アクセサリ	1.アラーム
	2.電卓
7 セキュリティ	1.全機能ロック
	2.パスワード変更
8 T:メール※1	
9 環境設定	1.ユーザ設定
	2.管理者設定※2
	3.情報表示
	4.再起動

※1「8 T:メール」は使用できません。
※2 本製品をご利用になるためには、管理者設定画面での設定が必要です。（→P13）

パスワードについて
出荷時、本製品の管理者用パスワードは、「0000」に設定されています。
本製品を設定していただくときに必要ですので、お忘れにならないようにご注意ください。

クイックガイド

第2章

この章では、
VP-701本体を設定して、内線電話をご使用いただくまでの手順を説明しています。

Step1. 電話機の準備 …… 14
　　設定項目について …… 14
　　電源を入れる …… 14
Step2. 管理者設定 …… 15
Step3. ネットワーク設定 …… 16
　　固定IPアドレスを設定するときは …… 16
Step4. SIP設定 …… 17
　　電話番号を設定する …… 17
Step5. 保守サーバIPアドレス …… 18
　　保守サーバIPアドレスを設定する …… 18
Step6. 登録の確認/再起動 …… 19
　　確認のしかた …… 19
　　再起動のしかた …… 19

ネットワーク環境について
本製品を使用するには、弊社VoIP機器に接続できるネットワーク環境が必要です。
事前にご使用のネットワークおよび弊社VoIP機器の設定をご確認ください。

Step1. 電話機の準備

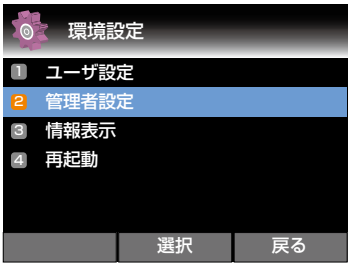
子機として弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に登録するための準備をします。

設定項目について

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に登録するため、次の項目をVP-701の「管理者設定」で設定します。

設定を完了してからVP-701を再起動すると、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)から各種設定や電話帳などを自動的に更新します。

(メインメニュー)



(環境設定メニュー)

Step2 管理者設定

1. ネットワーク設定
2. SIP設定
3. 保守サーバIPアドレス
4. アップグレード
5. ボイスメール機能
6. 環境の初期化
7. 工場初期化

Step3 ネットワーク設定(DHCP/固定IP)

Step4 SIP設定
電話番号(内線番号)

Step5 保守サーバIPアドレス
(弊社製VoIP機器のLAN側IPアドレス)

電源を入れる

VP-701の電源を入れると、起動アニメーションを表示したあと、待受画面になります。

※「接続できません」と表示されたときは、[LAN]ポート、またはHUBなどに接続しているケーブルをご確認ください。

Step2. 管理者設定

メニュー 9 2

1 **待受画面で**
〈メニュー〉を押す

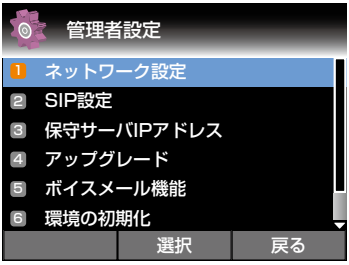
メインメニューを表示します。

2 **[9][2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。
※カーソルキーでも同様に操作できます。

3 **表示された画面で**
パスワード「0000」(出荷時の設定)を
入力し、〈決定〉を押す

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



待受画面に戻るときは
「〈終了〉を押す」、「受話器を上げる」のどちらかの操作をすると、待受画面に戻ります。

Step3. ネットワーク設定

メニュー 9 2 1

DHCPサーバ機能が無効になっているネットワークにVP-701を接続する場合は、この手順を操作してください。

※IPアドレスを「DHCP(自動取得)」でご利用の場合は、17ページへ進みます。

固定IPアドレスを設定するときは

出荷時、VP-701はIPアドレスを「自動取得」できるように設定されています。

1 **管理者設定画面(→P15)で[1]を押す**

ネットワーク設定画面を表示します。

2 **カーソルキー(左右)で、「固定IP」を選択し、〈決定〉を押す**

固定IP画面を表示します。
※文字を消去するときは、〈電話帳/戻る〉を押します。

3 **ご使用のネットワーク環境に応じて、**
- **IP**(IPアドレス)
- **SN**(サブネットマスク)
- **GW**(デフォルトゲートウェイ)
- **DNS**(プライマリDNSサーバ)
- **DNS2**(セカンダリDNSサーバ)

を入力し、〈決定〉を押す

設定が有効になると、管理者設定画面に戻ります。

(上図は、説明のための設定例です)

Step4. SIP設定

メニュー 9 2 2

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定した、「電話番号(内線番号)」を登録します。

※設定をはじめる前に、弊社VoIP機器(簡易中継サーバ)側で、内線番号の設定を完了してください。

電話番号を設定する

1 **管理者設定画面(→P15)で[2][1]を押す**

電話番号画面を表示します。

2 **弊社製VoIP機器で設定された電話番号(内線番号)を入力し、〈決定〉を押す**

設定が有効になると、SIP設定画面に戻ります。

※弊社製VoIP機器でパスワードを登録した場合は、[ID]、[Password]欄に入力してください。

(右図は、説明のための設定例です)

3 **〈電話帳/戻る〉を押す**

管理者設定画面に戻ります。

Step5. 保守サーバIPアドレス

メニュー 9 2 3

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の設定を自動的に取得するため、「保守サーバIPアドレス」を設定します。

保守サーバIPアドレスを設定する

1 **管理者設定画面(→P15)で[3]を押す**

保守サーバIPアドレス設定画面を表示します。
※文字を消去するときは、〈電話帳/戻る〉を押します。

2 **弊社製VoIP機器のIPアドレス(LAN側)を入力し、〈決定〉を押す**

設定が有効になると、管理者設定画面に戻ります。

3 **〈電話帳/戻る〉を押す**

再起動画面を表示します。

4 **カーソルキー(左右)で、「はい」を選択し、〈決定〉を押す**

再起動を開始します。

Step6. 登録の確認/再起動

メニュー 9 4

VP-701が再起動すると、弊社製VoIP機器の設定を自動的に取得します。

確認のしかた

待受画面に戻ったら
設定した電話番号(内線番号)が表示されて
いることを確認する

表示されないときは、設定内容を確認してください。

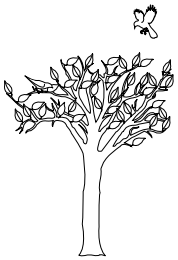
再起動のしかた

すでにご利用の場合は、
待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[4]を押して、
変更した弊社製VoIP機器の設定を更新する

時計表示について

VP-701の内部時計を自動的に設定するためには、あらかじめ弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の内部時計を設定しておくことが必要です。

※弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の内部時計を自動的に設定する場合は、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)がインターネットに接続できる環境が必要です。



電話の使いかた

第3章

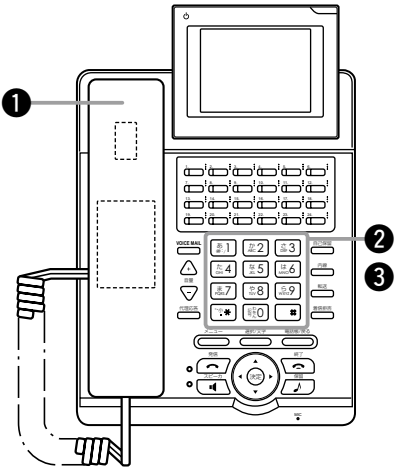
この章では、
本製品を使う前に知っておいていただきたい操作について説明します。

1. 電話をかけるには(外線発信) …… 22
2. 電話がかかってきたときは(外線着信) …… 25
3. 自分以外にかかってきた電話に応答するには(代理応答) …… 26
4. 発信履歴からかけなおすには(リダイヤル) …… 27
5. 着信履歴からかけるには …… 28
6. 電話帳に登録するには …… 29
7. 文字を入力するには …… 30
   各キーの文字割り当て …… 31
8. 電話帳から電話をかけるには …… 32
9. ワンタッチで電話をかけるには …… 33
10. 通話相手に待ってもらうときは(自己保留) …… 34
11. 電話を取り次ぐには(パーク保留/応答) …… 35
12. 電話を取り次ぐには(転送) …… 39
13. 内線で通話するには(内線発信) …… 41
14. 不在や通話中などで応答できないときは …… 43

着信拒否を設定しているときは
着信拒否や話中転送を設定したVP-701では、内線･外線着信時で動作が異なりますので、詳しくは、6-1章「こんなときは」をご覧ください。

1. 電話をかけるには(外線発信)

空いている外線を自動的に選んで電話をかけます。



空いている外線を選んで電話をかける

❶受話器を上げる

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。
※〈スピーカ〉を押しても同様に操作できます。

❷外線発信キー(設定例：0)を押す

「ツー」と外線発信音が聞こえ、使用する〈外線キー〉が点灯(緑)します。

❸電話番号をダイヤルする

「#」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに発信できます。

使用できる外線がないときは

押した外線発信キー(設定例：0)がそのまま電話番号と扱われますので、しばらくしてからかけなおしてください。

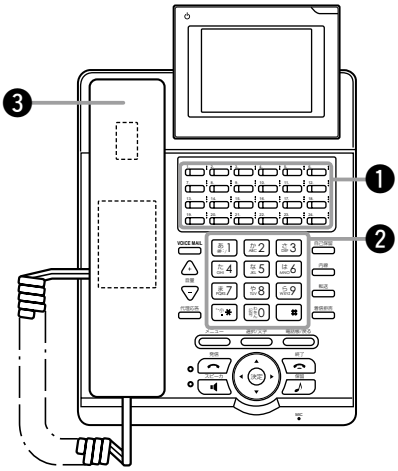
受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは

オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、外線発信キー(設定例：0)を押す必要がありません。

「スピーカ」で相手の声を聞くには

受話器で通話中に〈スピーカ〉を押すと、ハンズフリーで通話できるようになります。
このとき、受話器を置いても通話は切れません。
受話器を上げる、またはもう一度〈スピーカ〉を押すと、受話器での通話に戻ります。

使用する外線を指定して電話をかけます。



使用する外線を選んで電話をかける

❶消灯している〈外線キー〉を押す

「ツー」と外線発信音が聞こえ、〈外線キー〉が点灯(緑)します。

❷電話番号をダイヤルする

「＃」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに発信できます。

❸受話器を上げる

※〈スピーカ〉を押す、または〈発信〉を押しても同様に操作できます。

〈外線キー〉を押しても「ツー」という発信音が聞こえないときは

その〈外線キー〉は使用できません。

〈外線キー〉が点灯(赤)のときは

ほかの内線電話機で外線を使用中のため、その〈外線キー〉を押して電話をかけることはできません。

フレキシブルボタンの設定内容を確認するときは

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押すと、フレキシブルボタン設定画面で各キーの機能の割り当てを確認できます。

受話器を上げてから電話をかけるには

受話器を上げてから、〈外線キー〉を押します。

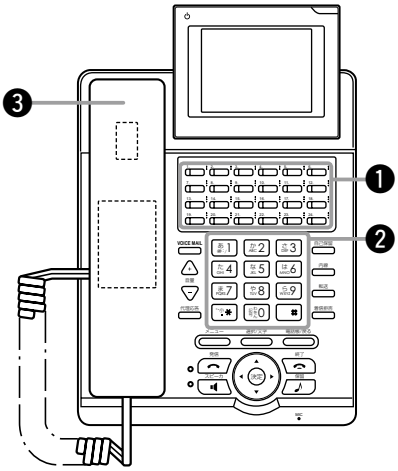
「スピーカ」で相手の声を聞くには

受話器で通話中に〈スピーカ〉を押すと、ハンズフリーで通話できるようになります。
このとき、受話器を置いても通話は切れません。
受話器を上げる、またはもう一度〈スピーカ〉を押すと、受話器での通話に戻ります。

3 電話の使いかた

1. 電話をかけるには(外線発信)

受話器を置いたままでも、電話をかけることができます。



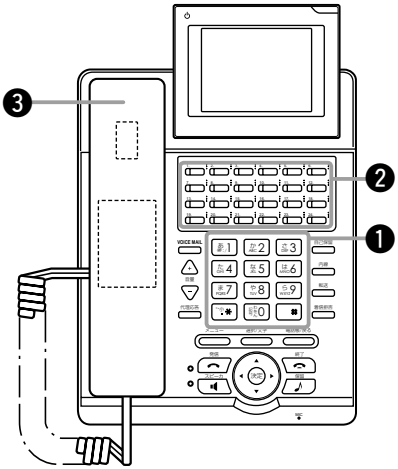
受話器を置いたまま電話をかける

❶ 消灯している〈外線キー〉を押す

「ツー」と外線発信音が聞こえ、〈外線キー〉が点灯(緑)します。

❷ 電話番号をダイヤルする

❸ 相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、受話器を上げる



電話番号を確認してから電話をかける

下記の手順は、外線発信キーを「0」以外に設定している場合に操作できます。

❶ 電話番号をダイヤルする

❷ 消灯している〈外線キー〉を押す

〈外線キー〉が点灯(緑)して、発信します。

❸ 相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、受話器を上げる

相手が応答する前に電話を切るときは

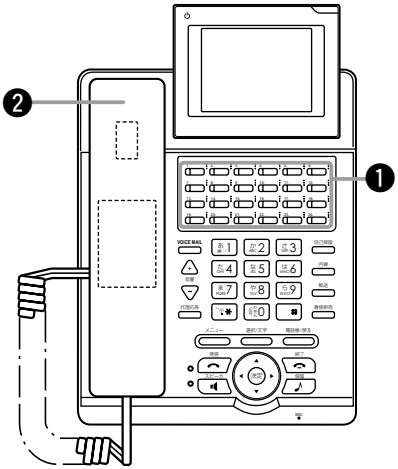
〈スピーカ〉または〈終了〉を押すと、電話が切れ、[スピーカ]ランプ、[発信]ランプが消灯します。

入力した電話番号を消去するときは

〈電話帳/戻る〉を押すと、最後に入力した1文字を消去します。

2. 電話がかかってきたときは(外線着信)

電話がかかってくると、電話機から着信音が聞こえ、[着信]ランプが点滅(赤)し、〈外線キー〉は高速点滅(赤)になります。



外線からの着信に応答する

❶着信中に
高速点滅(赤)している〈外線キー〉を押す
※複数着信しているときは、ディスプレイに表示されているキー番号をご確認ください。

❷受話器を上げる

不応答転送が設定されているときは(不応答着信)
一定時間内に応答しなかったときは、着信先が他の電話機に切り替わります。(→P44)

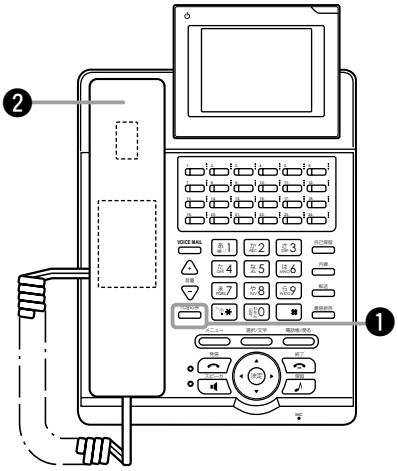
受話器を上げてから応答するには
受話器を上げてから、高速点滅(赤)している〈外線キー〉を押すと、その〈外線キー〉に割り当てられた回線の着信に応答できます。先に〈外線キー〉を押しても応答できます。
オフフック外線応答が「する」に設定されているときは、着信音が鳴っている電話機の受話器を上げると、〈外線キー〉を押さずに応答できます。

着信音が鳴っている電話機では
複数の回線や内線が着信している状態のときは、先に〈外線キー〉や〈内線〉を押してから受話器を上げてください。

続けてかかってきた電話に応答するには
通話中の相手に待っていただく場合は、〈保留〉または高速点滅(赤)している〈外線キー〉を押します。このとき、それまでの通話はパーク保留になり、〈外線キー〉が低速点滅(緑)します。(→P36)
通話が終わっている場合は、高速点滅(赤)している〈外線キー〉を押します。

3. 自分以外にかかってきた電話に応答するには(代理応答)

自分以外にかかってきた呼び出し(内線着信/外線着信)に、代わりに応答できます。
※弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側で、VP-701の〈代理応答〉を「コールピックアップ」または「グループピックアップ」に設定します。(→P90)



ピックアップ(代理応答)するには

❶ 自分以外の電話機が着信中に、〈代理応答〉を押す

❷ 相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、受話器を上げる

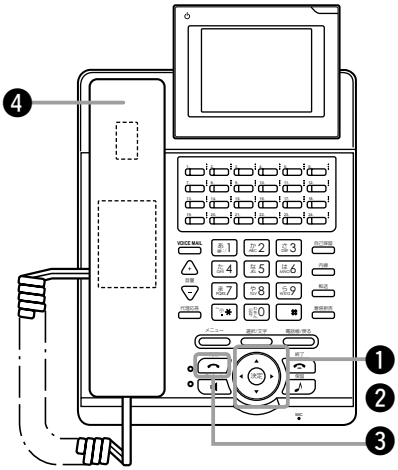
受話器を上げてから代理応答するには
受話器を上げてから、〈代理応答〉を押しても上記と同様に代理応答できます。

グループピックアップ(同一グループへの着信)で代理応答するには
グループピックアップの特番(設定例：＊＊)を押して、受話器を上げると代理応答できます。
受話器を上げてから、特番をダイヤルしても上記と同様に代理応答できます。
※特番は、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側で設定します。(→P84)

代理応答したときは
代理応答したときは、相手番号はディスプレイに表示されません。また、代理応答した電話機には、代理応答の着信履歴は保存されません。

4. 発信履歴からかけなおすには(リダイヤル)

一度電話をかけた相手に、カーソルキー(右)で電話をかけなおせます。
発信履歴は30件まで記録でき、30件を超えると古い履歴から自動的に削除されます。



発信履歴から電話をかけなおす

**❶受話器を置いた状態で
カーソルキー(右)を押す**

発信履歴画面を表示します。

**❷カーソルキー(上下)で
かけなおす履歴を選択する**

❸〈発信〉を押す

表示された電話番号にダイヤルします。
※〈スピーカ〉を押す、または受話器を上げても同様に操作できます。

**❹相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、
受話器を上げる**

発信履歴に記録される内容は
相手先の電話番号、電話をかけた時間と通話時間が記録されます。

使用する外線を選択するときは
手順❷の操作後、空いている〈外線キー〉(消灯)を押します。

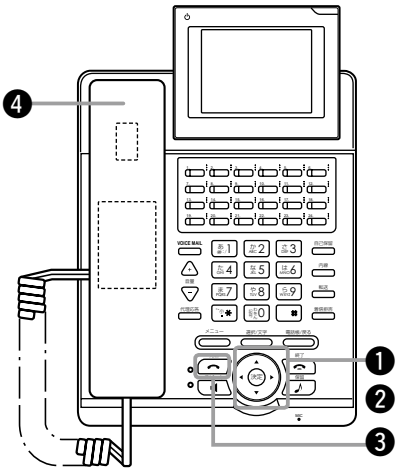
直前でかけた電話番号にかけなおすときは(リダイヤル)
カーソル(上)キーを押すと、最後にかけた電話番号にダイヤルします。

発信履歴の電話番号を電話帳に登録するときは
待受画面▶カーソルキー(右)▶発信履歴を選択▶〈メニュー〉▶[1]を押します。
表示された画面で、名前やヨミガナなどを入力し〈決定〉を押すと、個別電話帳に登録されます。
電話帳の登録については29ページ、文字入力については30ページをご覧ください。

発信履歴の電話番号を消去するときは
待受画面▶カーソルキー(右)▶発信履歴を選択▶〈メニュー〉▶[2]を押します。

5. 着信履歴からかけるには

電話をかけてきた相手に、カーソルキー(左)で電話をかけなおせます。
着信履歴は60件(不在・通話)まで記録でき、60件を超えると古い履歴から自動的に削除されます。



着信履歴から電話をかけなおす

**❶受話器を置いた状態で
カーソルキー(左)を押す**
着信履歴画面を表示します。

**❷カーソルキー(上下)で
かけなおす履歴を選択する**

❸〈発信〉を押す
※〈スピーカ〉を押す、または受話器を上げても同様に操作できます。

**❹相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、
受話器を上げる**

着信履歴に記録される内容は
相手先の電話番号、電話がかかってきたときの時間と通話時間が記録されます。

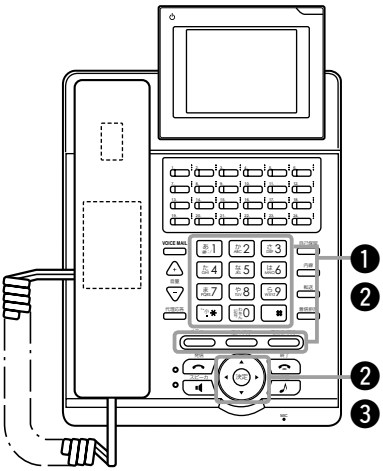
使用する外線を選択するときは
手順❷の操作後、空いている〈外線キー〉(消灯)を押します。

着信履歴の電話番号を電話帳に登録するときは
待受画面▶カーソルキー(左)▶着信履歴を選択▶〈メニュー〉▶[1]を押します。
表示された画面で、名前やヨミガナなどを入力し〈決定〉を押すと、個別電話帳に登録されます。
電話帳の登録については29ページ、文字入力については30ページをご覧ください。

着信履歴の電話番号を消去するときは
待受画面▶カーソルキー(左)▶着信履歴を選択▶〈メニュー〉▶[2]を押します。

6. 電話帳に登録するには

VP-701で使用できる電話帳は、弊社製VoIP機器で設定する共通電話帳(最大300件)、設定グループ電話帳(最大100件)と、VP-701ごとに登録できる個別電話帳(最大599件)で構成されています。



個別電話帳に登録する

❶ 待受画面▶〈電話帳/戻る〉▶[2]を押す

電話番号登録画面を表示します。

❷ 電話番号登録画面で

名前(全角15/半角30文字)、
ヨミガナ(全角15/半角30文字)、
短縮番号(401～999)、
電話番号(22桁以内)**を入力する**

短縮番号には、401番号以降の空いている小さい数字が自動的に入ります。

※短縮番号を削除すると、登録した電話帳を編集できなくなりますのでご注意ください。

❸ カーソルキーで

外線/内線(回線捕捉用)、
グループ(グループ1～10)を選択し、
〈決定〉を押す

登録されると、電話帳画面を表示します。

※グループ表示名は、グループ管理画面で変更できます。(→P64)

ヨミガナについて

電話帳を検索するときに使用しますので、必ず入力してください。

登録されている電話帳を確認するには

〈電話帳/戻る〉を押して、検索方法を選択し、電話帳を検索すると登録内容を表示できます。

登録した内容を変更するには

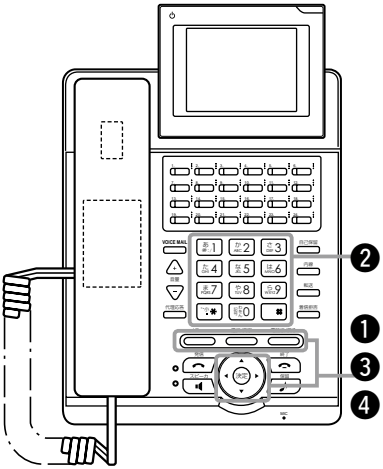
電話帳の登録内容が表示された状態で〈メニュー〉を押します。
表示されるメニューから「編集」を選択して、〈決定〉を押すと、編集できます。

登録されている電話帳を削除するには

電話帳の登録内容が表示された状態で〈メニュー〉を押します。
表示されるメニューから「削除」を選択して、〈決定〉▶「はい」▶〈決定〉を押すと削除されます。

7. 文字を入力するには

電話帳などで、漢字、ひらがな、カタカナ、半角英文字(大/小)、半角数字を入力できます。

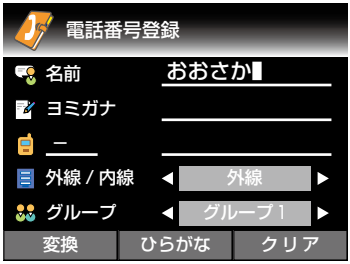


漢字を入力する

例) 電話帳の新規登録画面で名前「大阪」を入力する場合

❶ 入力画面で〈選択/文字〉を押し、入力モードを選択する

❷ 入力したい文字が割り当てられたダイヤルキーを押す



カタカナ、英字、数字モードでは表示された文字が入力されます。

❸〈メニュー〉を押す

変換候補一覧を表示します。

❹ カーソルキーで変換したい文字を選択し、〈決定〉を押す

入力モードについて

入力画面では〈選択/文字〉を押すたびに、入力モードが切り替わります。

各キーの文字割り当て

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。キーをくりかえし押して、目的の文字を表示します。

例）漢字/ひらがなモードで

[あ @:/ 1] を 1回→ 2回→ 3回→ 4回→ 5回→ 6回…
あ い う え お あ…

キー	ひらがな	カタカナ	英字(大)	英字(小)	数字
[あ @:/ 1]	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@:/	@:/	1
[か ABC 2]	かきくけこ	カキクケコ	ABC	abc	2
[さ DEF 3]	さしすせそ	サシスセソ	DEF	def	3
[た GHI 4]	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI	ghi	4
[な JKL 5]	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
[は MNO 6]	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
[ま PQRS 7]	まみむめも	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
[や TUV 8]	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
[ら WXYZ 9]	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
[わ 記号 を ん 0]	わをん。、ー_ゎ	ワヲン。、ー_	※1	※1	0
[゛小 *]	゛（濁点）゜（半濁点） 大文字と小文字の切替	゛（濁点）゜（半濁点） 大文字と小文字の切替	※2	※2	—
[#]	————	————	#()[]	#()[]	#

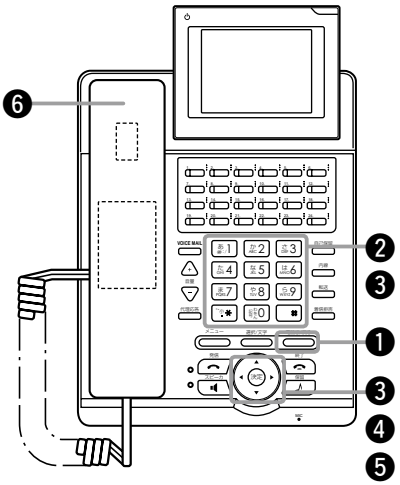
※1 「- (ハイフン)」、「_ (アンダーライン)」、「 (スペース)」の半角文字を表示します。
※2 「* (アスタリスク)」、「. (ピリオド)」、「, (カンマ)」の半角文字を表示します。

濁点、半濁点の入力や大文字と小文字の切り替えは、文字を入力した後に、*（アスタリスク）を押します。

例）つ→っ→づ→つ　は→ば→ぱ→は

8. 電話帳から電話をかけるには

登録してある電話帳を利用して電話をかけます。
電話帳は、短縮番号、ヨミガナ、電話番号、グループ番号検索の4つの方法で検索することができます。



電話帳からかける

例）短縮番号検索でかける場合

❶待受画面で〈電話帳/戻る〉を押す

電話帳画面を表示します。

❷[1][1]を押す

短縮番号検索画面を表示します。

❸検索したい短縮番号を入力し、〈決定〉を押す

検索結果一覧を表示します。

❹カーソルキー(上下)で電話番号を選択する

❺受話器を上げる

※〈スピーカ〉を押す、または〈発信〉を押しても同様に操作できます。

使用する外線を選択するときは

手順❹の操作後、空いている〈外線キー〉(消灯)を押します。

ヨミガナ(行)を検索するには

手順❷で、[1][2]を押して、表示されたヨミガナ検索画面で50音の行(あ～わ)に対応しているダイヤルキーを押します。
〈決定〉を押すと、入力した文字から始まる電話帳を一覧表示します。

グループを検索するには

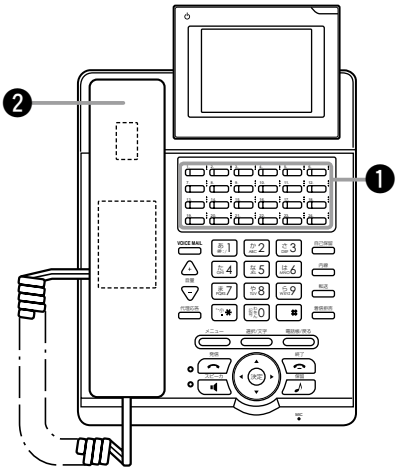
手順❷で、[1][4]を押して、表示されたグループ検索画面でグループ番号を押します。
〈決定〉を押すと、グループに登録された電話帳を一覧表示します。

あらかじめ短縮番号がわかっているときは

電話帳に登録された短縮番号(3桁)をダイヤルし、最後の番号を1秒以上長押しすると、登録した電話番号に電話をかけます。

9. ワンタッチで電話をかけるには

よくかける相手の電話番号を〈ワンタッチ〉に登録しておくと、簡単に電話をかけられます。(→P71)
※弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側でフレキシブルボタンにワンタッチ機能を割り当て、ワンタッチでかける相手先の電話番号や特番をVP-701側で登録します。



ワンタッチで電話をかける

❶〈ワンタッチ〉を押す

❷相手の声が「スピーカ」から聞こえたら、受話器を上げる

ワンタッチに登録するには

VP-701ごとに、ワンタッチで発信できる電話番号を登録できます。
待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押すと、表示されるフレキシブルボタン設定画面で、ワンタッチ機能が割り当てられたキー番号を選択して、相手先の電話番号を入力します。(→P71)

ワンタッチに登録できる番号は

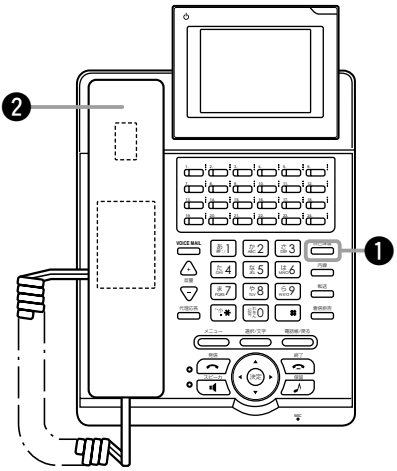
相手先の電話番号、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定した特番(内線一斉発信番号/昼夜切替/不在転送特番/不応答転送特番/話中転送特番)が登録できます。

フレキシブルボタンの設定内容を確認するときは

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押すと、フレキシブルボタン設定画面で各キーの機能の割り当てを確認できます。

10. 通話相手に待ってもらうときは(自己保留)

しばらく待ってもらうときには自己保留にします。通話相手には保留音が流れます。



他の電話機で取れないように保留する

❶通話中に〈自己保留〉を押す

保留した電話機の「スピーカ」から保留音が流れます。

❷受話器を置く

保留を解除するときは、受話器を上げます。

〈保留〉を押したときは

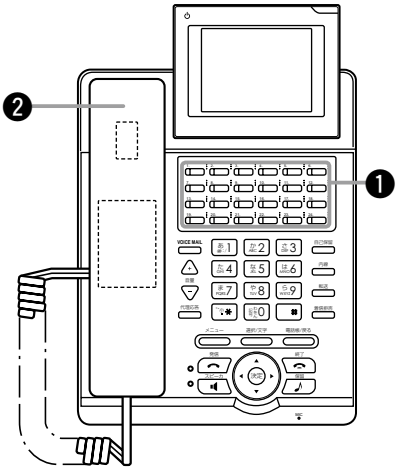
手順❶で〈自己保留〉を押さずに〈保留〉を押したときは、他の電話機で応答できる「パーク保留」になり、〈パーク〉が低速点滅(緑)します。
保留を解除するときは、低速点滅(緑)している〈パーク〉を押してください。
※外線で通話中のときは、外線保留になり、〈外線キー〉が低速点滅(緑)します。

〈自己保留〉を押して受話器を置かなかったときは

〈自己保留〉を押すと、保留を解除できます。

11. 電話を取り次ぐには(パーク保留/応答)

通話中の電話をほかの電話機で出られるようにパーク保留します。
外線で通話中の場合は、点灯(緑)している〈外線キー〉を押しても同様に保留できます。



パーク保留して口頭で伝える(転送元)

❶通話中に
消灯している〈パーク〉を押す

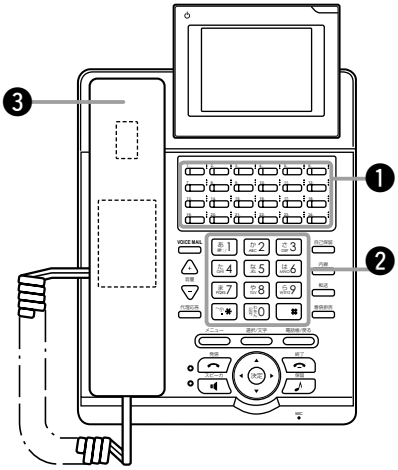
〈パーク〉が低速点滅(緑)して、相手には保留音が流れます。

【外線で通話中の場合】
点灯(緑)している〈外線キー〉を押しても同様に保留できます。

❷受話器を置く

ほかの電話機では、保留されたキーが低速点滅(赤)します。

❸保留したキー番号を口頭で直接伝える



パーク保留して電話で伝える(転送元)

❶通話中に
消灯している〈パーク〉を押す

〈パーク〉が低速点滅(緑)して、相手には保留音が流れます。

【外線で通話中の場合】
点灯(緑)している〈外線キー〉を押しても同様に保留できます。

❷転送先の内線番号をダイヤルする

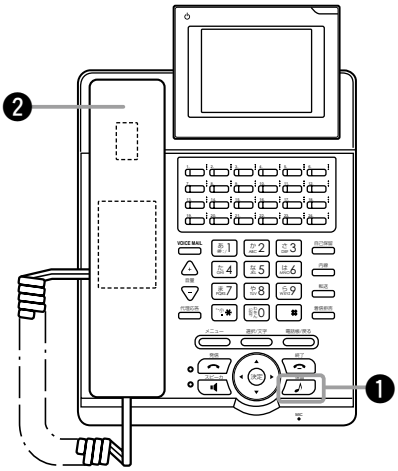
ほかの電話機では、保留されたキーが低速点滅(赤)します。

❸転送先の応答を確認したら、保留したキー番号を伝え、受話器を置く

他の内線電話が本製品以外のときは
VP-701以外の内線電話(パーク保留・応答対応)の場合は、「パーク保留プレフィクス+パーク番号」をダイヤルします。
また、VP-701以外の内線電話機から外線保留に応答する場合は、「外線キー パーク応答プレフィクス+キー番号(2桁)」をダイヤルします。
※多機能電話設定グループが外線保留した電話機と異なる場合は、応答できません。(→P88)

11. 電話を取り次ぐには(パーク保留/応答)

通話中に〈保留〉を押すと、空いているフレキシブルボタンでパーク保留できます。
外線で通話中の場合は〈外線キー〉、内線で通話中の場合は〈パーク〉が低速点滅(緑)します。



保留して口頭で伝える(転送元)

❶ 通話中に〈保留〉を押し、緑点滅したキー番号を確認する

外線で通話中の場合は〈外線キー〉、内線で通話中の場合は〈パーク〉が低速点滅(緑)します。
相手には保留音が流れます。

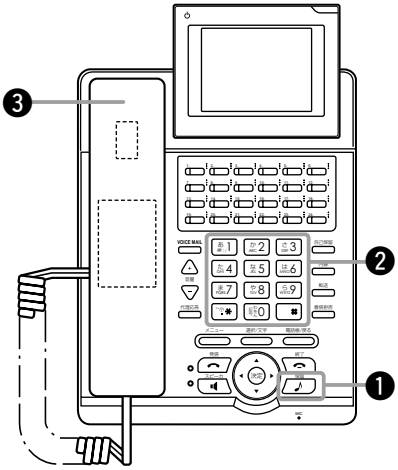
❷ 受話器を置く

ほかの電話機では、保留されたキーが低速点滅(赤)します。

❸ 低速点滅(緑)しているキー番号を口頭で直接伝える

通話中に〈保留〉を押したときの動作について

- **外線で通話中に〈保留〉を押す**
  外線保留になり、通話中の〈外線キー〉が低速点滅(緑)になります。
  ※スライド発信機能(→P91)の〈外線キー〉で外線発信している場合は、パーク保留になり、〈パーク〉が低速点滅(緑)します。
- **内線で通話中に〈保留〉を押す**
  パーク保留になり、〈パーク〉が低速点滅(緑)します。
  ※パーク機能をフレキシブルボタンに割り当てていない場合、また空いている〈パーク〉(消灯)がない場合は、内線で通話中に〈保留〉を押してもパーク保留になりません。
  内線通話のままになります。



保留して電話で伝える(転送元)

❶ 通話中に〈保留〉を押し、低速点滅(緑)したキー番号を確認する

外線で通話中の場合は〈外線キー〉、内線で通話中の場合は〈パーク〉が低速点滅(緑)します。

相手には保留音が流れます。

❷ 転送先の内線番号をダイヤルする

ほかの電話機では、保留されたキーが低速点滅(赤)します。

❸ 転送先の応答を確認したら、保留したキー番号を伝え、受話器を置く

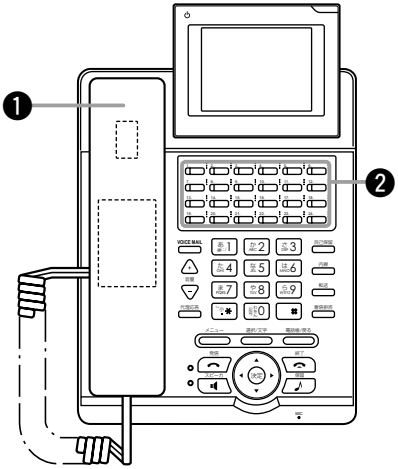
設定時間内に転送先が応答できなかったときは

- **〈外線キー〉で保留した場合**
  転送元の電話機にリコール(再呼出)し、転送元のディスプレイに「相手先の電話番号(外線)」と「キー番号」が表示され、〈外線キー〉が高速点滅(緑)になります。
- **〈パーク〉で保留した場合**
  転送元の電話機にリコール(再呼出)し、転送元のディスプレイに「＊＊RECALL＊＊」と「キー番号」が表示され、〈パーク〉が低速点滅(緑)になります。

※リコール開始から1分経過しても、転送元が通話中のときは、保留中の通話は切断されますのでご注意ください。
※設定時間(パークリコール時間)は、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定します。
(出荷時の設定：180秒)

11. 電話を取り次ぐには(パーク保留/応答)

低速点滅(赤)している〈外線キー〉を押しても同様に応答できます。

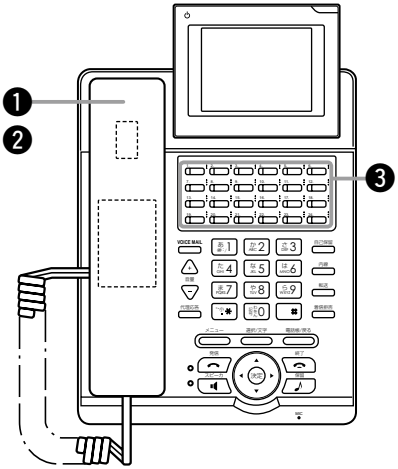


パーク応答する(転送先)

❶受話器を上げる

❷伝えられた番号のフレキシブルボタンを押す

キーを押してから、受話器を上げると、すぐに応答できます。



電話でパークを伝えられたら(転送先)

❶転送元から保留されたキー番号を確認したら、受話器を置く

❷受話器を上げる

❸伝えられた番号のフレキシブルボタンを押す

キーを押してから、受話器を上げると、すぐに応答できます。

他の内線電話が本製品以外のときは

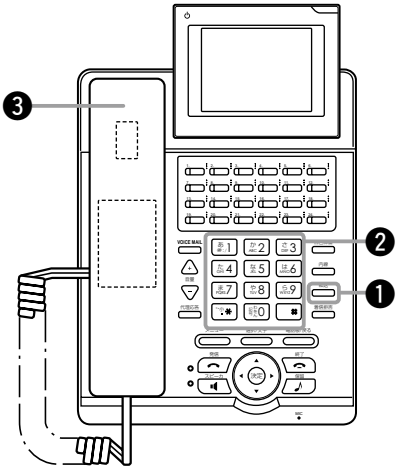
VP-701以外の内線電話(パーク保留・応答対応)の場合は、「パーク保留プレフィクス+パーク番号」をダイヤルします。

また、VP-701以外の内線電話機から外線保留に応答する場合は、「外線キー パーク応答プレフィクス+キー番号(2桁)」をダイヤルします。

※多機能電話設定グループが外線保留した電話機と異なる場合は、応答できません。(→P88)

12. 電話を取り次ぐには(転送)

外線や内線での通話を保留して他の電話機に転送するには、2つの方法があります。



応答を確認して転送する

❶ 通話中に〈転送〉を押す

相手には保留音が流れます。

❷ 転送先の電話番号をダイヤルする

※〈転送〉を押すと、元の通話に戻ります。

❸ 転送先の応答を確認し、受話器を置く

保留中の相手と転送先が通話に戻ります。

転送を中止するときは

転送先が応答する前に〈転送〉を押すと、転送を中止し元の通話に戻ります。

転送できなかったときは

転送先が応答できなかったときは、転送元のディスプレイに「話中」を表示します。
※〈転送〉を押すと、元の通話に戻ります。

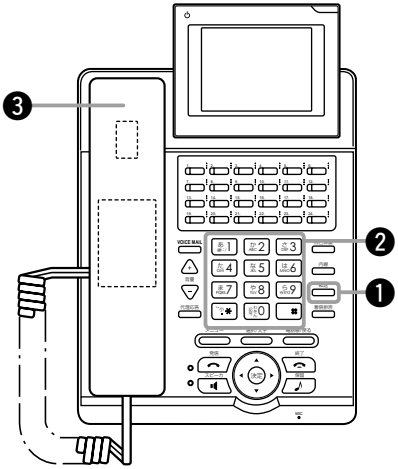
外線に転送するときは

通話中に〈転送〉▶空いている〈外線キー〉(消灯)▶転送先の電話番号をダイヤル▶〈発信〉を押します。
転送先の応答を確認したら、受話器を置きます。

外線に転送したときは

転送した電話が終わるまで、こちらから転送先までの通話料金がかかります。

12. 電話を取り次ぐには(転送)



応答を確認しないで転送する

❶ 通話中に〈転送〉を押す

相手には保留音が流れます。

❷ 転送先の電話番号をダイヤルする

※〈転送〉を押すと、元の通話に戻ります。

❸ 呼出中に受話器を置く

転送先は、保留中の相手から直接呼び出されている状態になります。

転送を中止するときは

転送先が応答する前に〈転送〉を押すと、転送を中止し元の通話に戻ります。

転送できなかったときは

転送先が応答できなかったとき、転送元の内線電話はリコール(再呼出)になります。転送元のディスプレイに「＊＊RECALL＊＊」が表示されます。
※転送元が通話中のときは、保留中の通話は切断されます。

外線に転送するときは

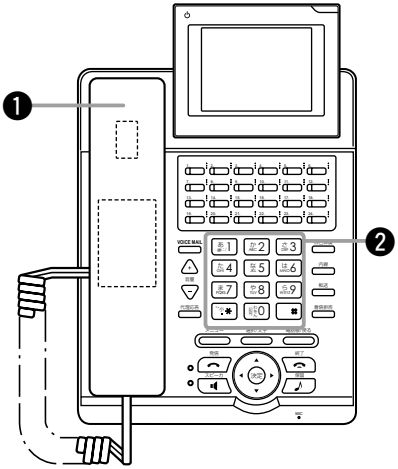
通話中に〈転送〉▶空いている〈外線キー〉(消灯)▶転送先の電話番号をダイヤル▶〈発信〉を押します。
呼出中になったら、受話器を置きます。

外線に転送したときは

転送した電話が終わるまで、こちらから転送先までの通話料金がかかります。

13. 内線で通話するには（内線発信）

他の内線電話機に電話をかけます。



内線で電話をかける

❶ 受話器を上げる

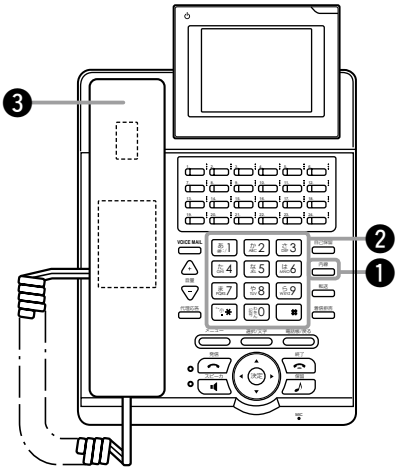
「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

❷ 電話番号をダイヤルする

「＃」（出荷時の設定）を最後に押すと、すぐに発信できます。

受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは

オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、〈内線〉を押して電話番号をダイヤルします。



内線を選んで電話をかける

❶ 〈内線〉を押す

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

❷ 電話番号をダイヤルする

❸ 受話器を上げる

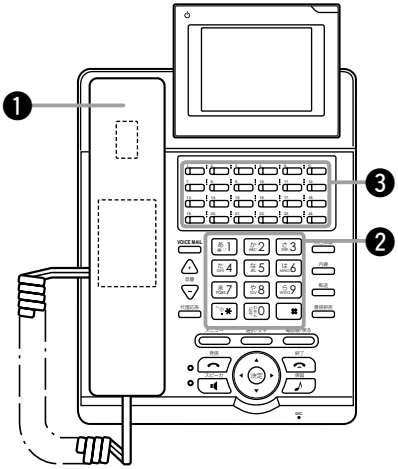
※〈スピーカ〉を押す、または〈発信〉を押しても同様に操作できます。

内線で通話中に外線で電話がかかってきたときに応答するには

通話中の相手に待っていただく場合は、〈パーク〉（消灯）または〈保留〉を押して、パーク保留にします。高速点滅（赤）している〈外線キー〉を押して、その〈外線キー〉に割り当てられた回線の着信に応答します。

13. 内線で通話するには(内線発信)

他の内線電話機に電話をかけ、音声で呼び出します。



内線で音声呼出をする

❶受話器を上げる

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

❷電話番号をダイヤルする

「#」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに発信できます。

❸〈音声呼出〉を押す

❹「プー」という音が聞こえたら、音声で呼び出す

相手の電話機の「スピーカ」から音声呼出が聞こえます。

受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは

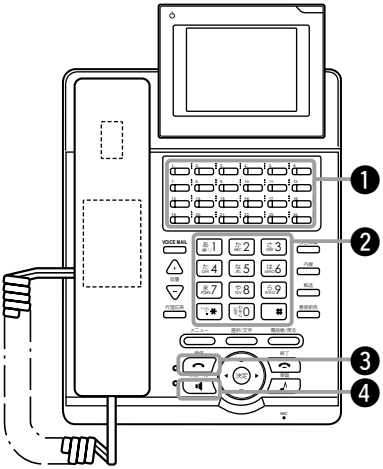
オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、〈内線〉を押して電話番号をダイヤルします。

フレキシブルボタンの設定内容を確認するときは

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押すと、フレキシブルボタン設定画面で各キーの機能の割り当てを確認できます。

14. 不在や通話中などで応答できないときは

離席中で不在のときにかかってきた電話を他の電話機に転送できます。
※グループおよび代表着信時の転送については、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定します。



【不在転送特番を使用するときは】

「不在転送特番」をダイヤルすると、不在転送機能の有効/無効を切り替えます。
また、「不在転送特番」+「転送先番号」で転送先を設定できます。
※上記の操作をしたとき、不在転送機能を割り当てているフレキシブルボタンは点灯しません。

不在転送を設定する

❶〈不在転送〉を押す

❷転送先の話番号をダイヤルする

「#」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに登録できます。

❸〈発信〉を押す

登録を開始します。

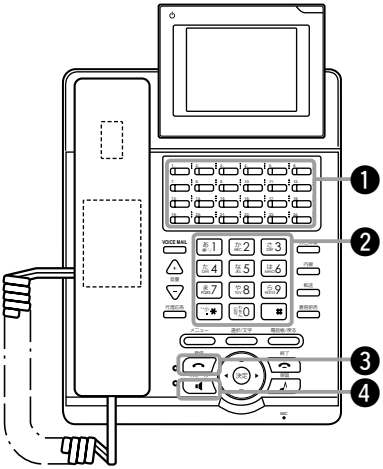
❹〈スピーカ〉を押す

〈不在転送〉が点灯(緑)し、待受画面に戻ります。
解除するときは、もう一度〈不在転送〉を押して〈不在転送〉の消灯を確認します。

着信拒否を設定しているときは
不在転送を設定すると、着信拒否機能は無効になります。

14. 不在や通話中などで応答できないときは

設定した呼出時間(出荷時の設定：5秒)を経過すると、かかってきた電話を他の電話機に転送します。
※グループおよび代表着信時の転送については、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定します。



【不応答転送特番を使用するときは】

「不応答転送特番」をダイヤルすると、不応答転送機能の有効/無効を切り替えます。
また、「不応答転送特番」+「転送先番号」で転送先を設定できます。
※上記の操作をしたとき、不応答転送機能を割り当てているフレキシブルボタンは点灯しません。

不応答転送を設定する

❶〈不応答転送〉を押す

❷転送先の話番号をダイヤルする

「#」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに登録できます。

❸〈発信〉を押す

登録を開始します。

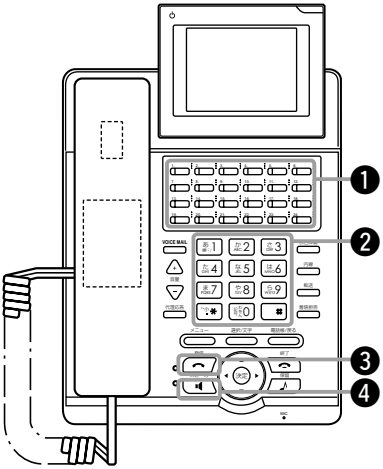
❹〈スピーカ〉を押す

〈不応答転送〉が点灯(緑)し、待受画面に戻ります。
解除するときは、もう一度〈不応答転送〉を押して〈不応答転送〉の消灯を確認します。

着信拒否を設定しているときは

〈着信拒否〉を押すと、着信拒否機能が有効になり、 を待受画面の右上に表示します。
不応答転送設定に関係なく、かかってきたすべての内線電話を拒否するために切断します。
外線着信時は鳴動しないだけで〈外線キー〉は高速点滅(赤)し、切断しません。
※着信拒否機能を解除するときは、もう一度〈着信拒否〉を押します。

内線通話中に内線からかかってきた電話を他の電話機に転送できます。



【話中転送特番を使用するときは】

「話中転送特番」をダイヤルすると、話中転送機能の有効/無効を切り替えます。
また、「話中転送特番」+「転送先番号」で転送先を設定できます。
※上記の操作をしたとき、話中転送機能を割り当てているフレキシブルボタンは点灯しません。

話中転送を設定する

❶〈話中転送〉を押す

❷転送先の話番号をダイヤルする

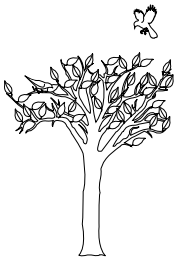
「#」(出荷時の設定)を最後に押すと、すぐに登録できます。

❸〈発信〉を押す

登録を開始します。

❹〈スピーカ〉を押す

〈話中転送〉が点灯(緑)し、待受画面に戻ります。
解除するときは、もう一度〈話中転送〉を押して〈話中転送〉の消灯を確認します。



メニュー画面について

第4章

この章では、
VP-701の各メニューの設定画面について説明しています。
設定画面は、用途別に下記の各メニューに分類されています。

1. 音設定 …… 48
2. スケジュール …… 51
3. 画面設定 …… 55
4. ボイスメール …… 57
5. 電話帳 …… 61
6. アクセサリ …… 65
7. セキュリティ …… 67
8. T:メール …… 69
9. 環境設定 …… 70

メニュー操作の表記について
本書では、メニュー操作について次のように表記します。

待受画面▶〈メニュー〉▶[メニュー番号]▶[設定項目番号]を押す
○○画面を表示します。

〈決定〉を押す
設定が有効になり、○○画面に戻ります。

※カーソルキーや〈選択/文字〉でも同様に操作できますが、紙面上の都合により省略して記載していますのでご了承ください。

4 メニュー画面について

1. 音設定

VP-701で使用する音について設定する画面です。

1. 着信音設定

「音設定」ー**「着信音設定」**

「着信音量」を6段階で調整します。　（出荷時の設定：レベル3）

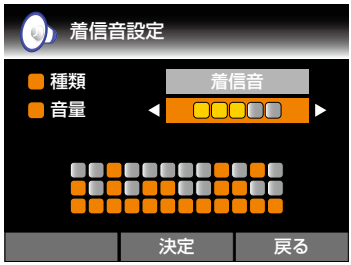
1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[1]▶[1]を押す**

着信音設定画面を表示します。

2 **カーソルキー（左右）で「音量」（着信音量）を調整し、〈決定〉を押す**

設定が有効になり、音設定画面に戻ります。

※「レベル0」にしているとき、または弊社製VoIP機器（簡易中継サーバ）側で「呼出音なし」に設定しているときは、着信音が鳴りません。



着信中に着信音量を設定するときは

着信中に〈音量（＋／－）〉を押すと、「着信音量」を調整できます。

着信音の種類について

弊社製VoIP機器（簡易中継サーバ）で外線や内線の鳴り分け音を設定するため、VP-701で着信音の種類を設定できません。

2. 通話音量設定

「音設定」ー**「通話音量設定」**

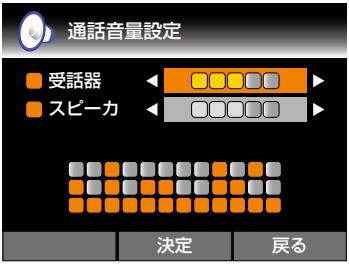
「受話音量」と「スピーカ音量」を5段階で調整します。　（出荷時の設定：レベル3）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[1]▶[2]を押す**

通話音量設定画面を表示します。

2 **カーソルキー（左右）で「受話器」（受話音量）を調整する**

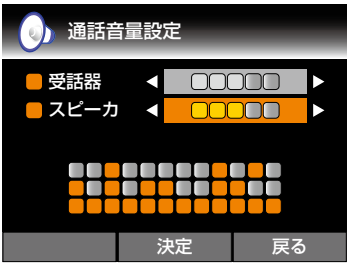
※変更した内容は、〈決定〉を押すまで有効になりません。



3 **カーソルキー（上下）で「スピーカ」を選択する**

4 **カーソルキー（左右）で「スピーカ」（スピーカ音量）を調整し、〈決定〉を押す**

設定が有効になり、音設定画面に戻ります。



通話中に（オフフック状態）で設定するときは

通話中または受話器を上げた状態で、〈音量（＋／－）〉を押すと、「受話音量」を調整できます。
また、[スピーカ]ランプが点灯している状態で、〈音量（＋／－）〉を押すと、「スピーカ音量」を調整できます。
※音量を調整するときは、受話器を耳から少しはなし、必ずディスプレイのレベル表示を確認してからご利用ください。

ハウリングについて

「スピーカ」で通話しているとき、周囲の状況によっては、「スピーカ音量」を最大（レベル5）にすると、ハウリング（「ピー」という音が出る現象）が発生して、通話ができない場合があります。
このようなときは、「スピーカ音量」を小さくしてご使用ください。

1. 音設定　メニュー 1

3. 操作音設定

「音設定」ー**「操作音設定」**

キー操作の確認音量を6段階で調整します。　（出荷時の設定：レベル3）

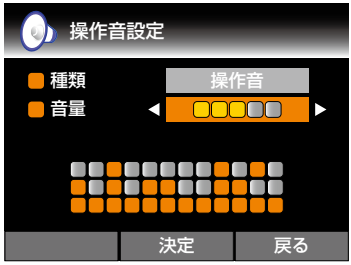
1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[1]▶[3]を押す**

操作音設定画面を表示します。

2 **カーソルキー（左右）で「音量」（操作音量）を調整し、〈決定〉を押す**

設定が有効になり、音設定画面に戻ります。

※「レベル0」にしているときは、操作音が鳴りません。



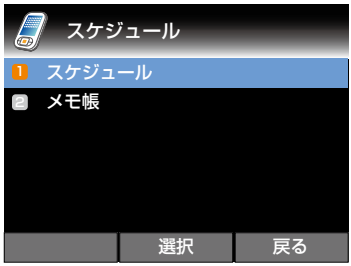
待受画面で設定するときは

受話器を置いた状態で、〈音量（＋／－）〉を押すと、キー操作の確認音量を調整できます。

2. スケジュール

メニュー 2

VP-701で使用するスケジュールとメモ帳について設定する画面です。
（文字入力については30ページをご参照ください。）



1. スケジュール

「スケジュール」ー**「スケジュール」**

指定した日時に、画面表示とベル(通知音)でスケジュールをお知らせします。
スケジュールは１日につき4件、最大120件まで登録できます。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[2]▶[1]を押す**

スケジュール編集画面を表示します。

2 **カーソルキーで スケジュールを登録する「日付」を カレンダーから選択する**

※オレンジは、今日の日付です。
カーソルキーを操作すると、枠線(白と赤)が移動し、画面左側に選択した日付の登録件数などを表示します。

3 **〈決定〉を押す**

選択した日付のスケジュール登録画面を表示します。

[時間]欄には、VP-701に設定された現在の時間を表示します。
※すでにスケジュールを登録している日付の場合は、スケジュール一覧画面を表示します。（→P53）

次ページにつづく➔

2. スケジュール

1. スケジュール

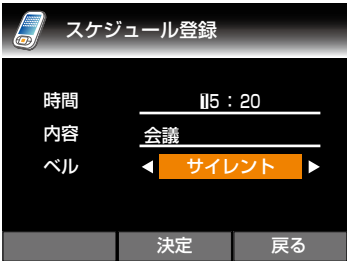
「スケジュール」ー**「スケジュール」**

4 **「時間」、「内容」(全角8文字/半角16文字以内)を設定する**

※[内容]欄に何も入力していないときは、登録できませんのでご注意ください。

5 **カーソルキー(左右)で設定した時間を通知する「ベル」を選択する**

※「サイレント」にしているときは、ベル(通知音)が鳴りません。
※ベル音量は変更できません。



6 **〈決定〉を押す**

登録が有効になり、スケジュール編集画面に戻り、画面左側に登録件数と内容(全角2文字/半角4文字以内)を表示します。

※すでにスケジュールを登録している日付の場合は、スケジュール一覧画面を表示します。(→P53)

スケジュール追加/編集について

登録した日付のスケジュールに追加(削除/全削除)、または編集できます。

①待受画面▶〈メニュー〉▶[2]▶[1]を押す

スケジュール編集画面を表示します。

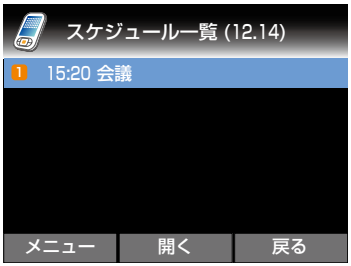
②カーソルキーで スケジュールを追加する「日付」を カレンダーから選択する

※スケジュール登録済みの日付には、グレーの枠線が付いています。
カーソルキーを操作すると、枠線(白と赤)が移動します。

③〈決定〉を押す

選択した日付のスケジュール一覧画面を表示します。

【編集するときは】
登録済みのスケジュールを編集する場合は、一覧からカーソルキーで選択し、52ページと同様に編集します。



④〈メニュー〉▶[1]を押す

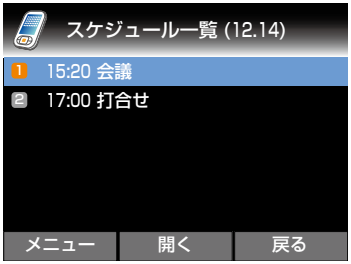
選択した日付に追加するスケジュール登録画面を表示します。(→P52)

【選択した日付のスケジュールを削除するときは】
1件削除するときは〈メニュー〉▶[2]、
全件削除するときは〈メニュー〉▶[3]を押します。

⑤52ページと同様に 「時間」、「内容」、「ベル」を設定し、 〈決定〉を押す

スケジュールが追加され、スケジュール一覧画面に戻ります。

【登録したすべてのスケジュールを削除するときは】
スケジュール編集画面(手順①)で〈メニュー〉▶[1]を押します。



2. スケジュール　メニュー 2

2. メモ帳作成

「スケジュール」ー**「メモ帳」**

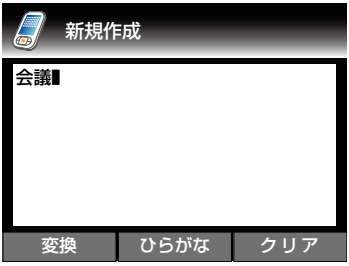
メモ帳に簡単なメモを10件まで登録できます。
1件に登録できる文字数は全角80文字(半角160文字)までです。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[2]▶[2]を押す**

新規作成画面(メモ帳)を表示します。
※すでにメモを登録している場合は、メモ帳一覧画面を表示します。

2 **ダイヤルキーで文字を入力する**

変換/ひらがなモードでは、〈メニュー〉を押すと、入力した文字の変換候補を表示します。
〈選択/文字〉を押すごとに、入力モードが切り替わります。
※文字入力については、30ページでご確認ください。



3 **〈決定〉を押す**

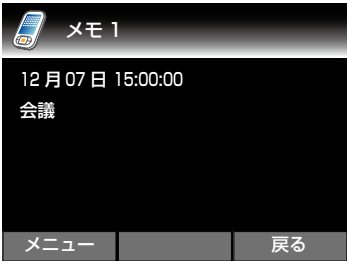
登録されると、メモ帳一覧画面になります。
一覧では、登録内容の一部(全角15文字/半角30文字以内)を表示します。

【確認するときは】
登録済みのメモ全文を確認する場合は、一覧から選択し、〈決定〉を押します。
メモ全文と登録した日時を表示します。

【編集するときは】
登録済みのメモを編集する場合は、一覧から選択し、〈決定〉▶〈メニュー〉▶[1]を押して、メモ編集画面を表示します。

【追加するときは】
すでにメモを登録している場合は、
メモ帳一覧画面▶〈メニュー〉▶[1]を押すと、新規作成画面を表示します。

【削除するときは】
1件削除するときは、
メモ帳一覧画面▶〈メニュー〉▶[2]、
全削除するときは、
メモ帳一覧画面▶〈メニュー〉▶[3]を押します。



3. 画面設定

メニュー 3

VP-701で使用する待受画面と明るさ調整について設定する画面です。

1. 待受画面

「画面設定」ー**「待受画面」**

待受時の画面をパターン1～3から選択できます。　（出荷時の設定：パターン1）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[3]▶[1]を押す**

待受画面（現在の設定画面）を表示します。

2 **カーソルキー（左右）で「パターン1～3」を選択し、〈決定〉を押す**

設定されると、画面設定画面に戻ります。

3. 画面設定　メニュー 3

2. 明るさ調整

「画面設定」ー**「明るさ調整」**

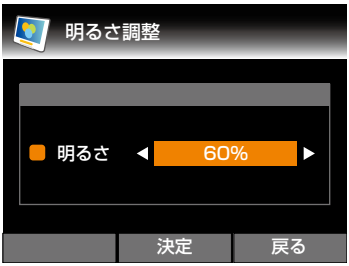
画面の明るさを5段階で調整できます。　（出荷時の設定：60%）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[3]▶[2]を押す**

明るさ調整画面を表示します。

2 **カーソルキー(左右)で明るさ(20～100%)を選択し、〈決定〉を押す**

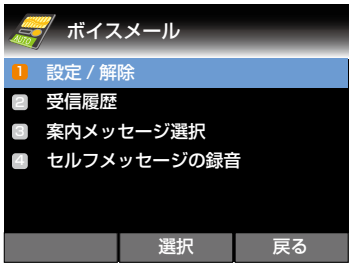
登録されると、画面設定画面を表示します。
※「100%」を選択すると、もっとも明るい画面になります。



4. ボイスメール

メニュー 4

VP-701で使用するボイスメール(留守番電話)ついて設定する画面です。
※出荷時、ボイスメール機能は「無効」に設定されていますので、ご利用される場合は、あらかじめ管理者設定画面で設定を変更してください。(→P77)



1. 設定/解除

「ボイスメール」ー**「設定/解除」**

本製品のボイスメール(留守番電話)機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、着信時に応答メッセージが流れます。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[4]▶[1]を押す**

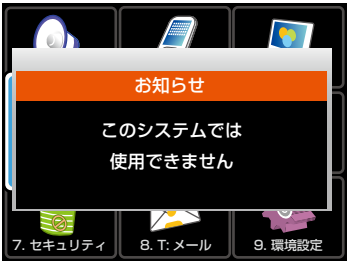
設定/解除画面を表示します。

2 **[1]を押す**

ボイスメール機能が有効になり、〈VOICE MAIL〉が点灯します。
※待受画面で〈VOICE MAIL〉を押しても同様に操作できます。

こんなときは

上記の手順を操作したとき、または〈VOICE MAIL〉を押したときに、「このシステムでは使用できません」と表示された場合は、ボイスメール機能が「無効」になっています。
管理者設定画面で設定を変更してください。(→P77)



4. ボイスメール

2. 受信履歴

「ボイスメール」ー**「受信履歴」**

ボイスメール(留守番電話)機能が設定されているときに、録音したメッセージ(受信履歴)を一覧で表示します。
メッセージ(1件につき約20秒まで録音)を10件まで記憶できます。

※10件目が録音されると、自動的に応答専用(録音しない設定)に切り替わります。このときは、手動で履歴を削除しないと録音できません。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[4]▶[2]を押す**

受信履歴画面を表示します。
※メッセージがないときは、「該当データが見つかりません」を表示します。

2 **カーソルキーで確認する受信履歴を選択し、〈決定〉を押す**

内容画面(相手先の電話番号など)を表示し、録音されたメッセージを再生します。
※何も操作しないと、再生終了後、受信履歴画面に戻ります。

【履歴を電話帳に追加するときは】
受信履歴(または内容)画面▶〈メニュー〉▶[1]を押すと、電話番号登録画面(→P62)を表示します。
※すでに弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で登録している電話番号は登録できません。

【削除するときは】
1件削除するときは、
受信履歴(または内容)画面▶〈メニュー〉▶[2]、
全削除するときは、受信履歴画面▶〈メニュー〉▶[3]を押します。

未確認のメッセージがあるときは

本体の〈VOICE MAIL〉が点滅し、 を待受画面の右上に表示します。
〈VOICE MAIL〉を押すと、ボイスメッセージ機能を解除して受信履歴画面を表示します。
※ボイスメッセージ機能を解除すると、〈VOICE MAIL〉は消灯します。

3. 案内メッセージ選択

「ボイスメール」ー**「案内メッセージ選択」**

ボイスメール(留守番電話)機能で使用する、案内メッセージを選択します。

(出荷時の設定：標準メッセージ)

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[4]▶[3]を押す**

案内メッセージ選択画面を表示します。

2 **カーソルキーで使用するメッセージを選択し、〈決定〉を押す**

選択したメッセージを再生して、ボイスメール画面に戻ります。

※「セルフメッセージ」(→P60)に何も録音していないときは、「該当データが見つかりません」を表示します。

4. ボイスメール　メニュー 4

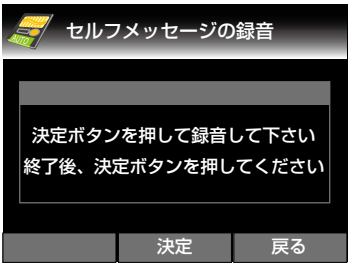
4. セルフメッセージの録音

「ボイスメール」ー**「セルフメッセージの録音」**

ボイスメール(留守番電話)機能で使用するセルフメッセージを20秒まで録音できます。
※録音したメッセージを消去するときは、もう一度録音して上書きしてください。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[4]▶[4]を押す**

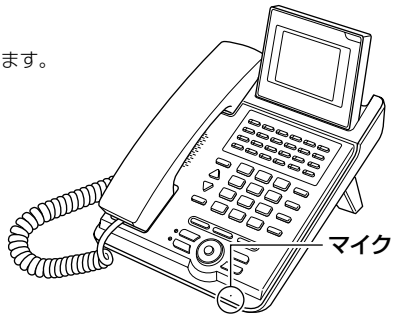
セルフメッセージの録音画面を表示します。



2 **〈決定〉を押し、本体のマイクに向かって話す**

3 **終了後、〈決定〉を押す**

録音が保存されると、ボイスメール画面を表示します。



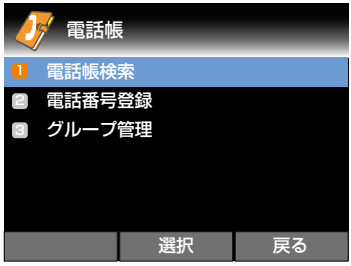
録音するときは
セルフメッセージを録音するときは、本体のマイクに向かって話してください。

録音したメッセージを確認するときは
待受画面▶〈メニュー〉▶[4]▶[3]▶[1]を押すと、録音したメッセージが再生され、応答メッセージとして設定されます。

5. 電話帳

メニュー 5

VP-701の電話帳について検索や設定する画面です。
※電話帳には999件まで登録できますが、そのうち599件までを個別電話帳としてVP-701ごとに登録できます。 （文字入力については30ページをご参照ください。）



1.電話帳検索

「電話帳」ー**「電話帳検索」**

VP-701に登録された電話帳を検索するとき使用します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[5]▶[1]を押す**

電話帳検索画面を表示します。

2 **検索方法の番号（1～4）を押して、表示された画面で検索内容を入力し、〈決定〉を押す**

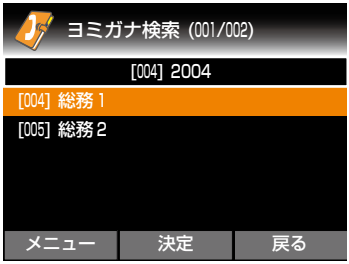
選択した方法での検索結果を表示します。
※説明には、「ヨミガナ検索」を選択し、「ソ」を入力した場合の表示例を使用しています。

【1.短縮番号検索を選択したときは】
登録された3桁の短縮番号を検索し、一覧で表示します。

【2.ヨミガナ検索を選択したときは】
登録されたヨミガナを検索し、一覧で表示します。

【3.電話番号検索を選択したときは】
登録された電話番号（外線/内線）を検索し、一覧で表示します。

【4.グループ検索】
登録されたグループ（グループ1～10）ごとに一覧で表示します。



5. 電話帳

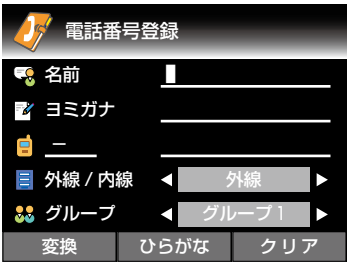
2.電話番号登録

「電話帳」ー**「電話番号登録」**

VP-701の個別電話帳に新規登録するとき使用します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[5]▶[2]を押す**

電話番号登録画面を表示します。
※文字入力については、30ページでご確認ください。



2 **電話番号登録画面**で
- **名前**(全角15文字/半角30文字以内)
- **ヨミガナ**(全角15文字/半角30文字以内)
- **短縮番号**(401～)
- **電話番号**(22桁以内)**を入力する**

短縮番号には、401番号以降の空いてる数字が自動的に入ります。
※短縮番号を削除すると、登録した電話帳を編集できなくなりますのでご注意ください。

【ヨミガナについて】
電話帳を検索するときに使用しますので、必ず入力してください。

3 **カーソルキー**で
- **外線/内線**
- **グループ**(グループ1～10)

を選択し、〈決定〉を押す

登録されると、電話帳画面に戻ります。
※グループの表示名は、グループ管理画面で変更できます。(→P64)

電話帳の編集について

登録した電話帳は編集、または削除できます。

①待受画面▶〈メニュー〉▶[5]▶[1]を押す

電話帳検索画面を表示します。

②検索方法の番号(1～4)を押して、表示された画面で検索内容を入力し、〈決定〉を押す

選択した方法での検索結果を表示します。

※説明には、「短縮番号検索」を選択し、「401」を入力した場合の表示例を使用しています。

③一覧から編集する電話帳を選択し、〈メニュー〉▶[1]を押す

編集画面を表示します。

④必要に応じて編集し、〈決定〉を押す

登録されると、電話帳検索画面に戻ります。

5. 電話帳　メニュー 5

3.グループ管理

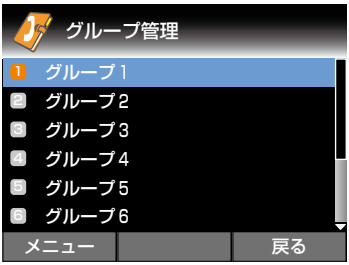
「電話帳」ー「グループ管理」

電話帳のグループに任意の名称を設定できます。（出荷時の設定：グループ1～10）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[5]▶[3]を押す**

グループ管理画面を表示します。

※文字入力については、30ページでご確認ください。



2 **グループ番号(1～10)▶〈メニュー〉▶[1]▶を押す**

選択したグループ番号の名称設定画面を表示します。

3 **名前(全角13文字/半角26文字以内)を入力し、〈メニュー〉を押して変換し、〈決定〉を押す**

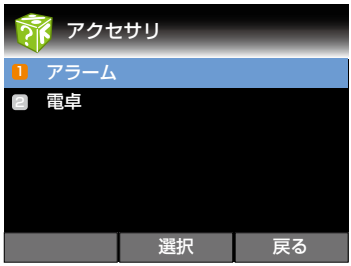
登録されると、グループ管理画面に戻ります。
〈選択/文字〉を押すごとに、入力モードを切り替わります。

【1文字消去するとき】
カーソルを消去したい文字の右側に移動し、〈電話帳/戻る〉を押します。

6. アクセサリ

メニュー 6

VP-701で使用するアラームと電卓について設定する画面です。



1. アラーム

「アクセサリ」ー**「アラーム」**

指定した時刻(1回/毎日)に、アラーム音でお知らせします。
アラームは5件まで登録できます。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[6]▶[1]を押す**

アラーム画面を表示します。

2 **登録する番号(1～5)を押して、表示された画面で、「設定」(1回/毎日)をカーソルキー(左右)で選択する**

※[設定]欄が「解除」のときは、設定内容を変更できません。

3 **「時間」を入力し、「アラーム音」をカーソルキー(左右)で選択して、〈決定〉を押す**

設定されると、アラーム画面に戻ります。
※「サイレント」にしているときは、アラームが鳴りません。
※アラーム音量は変更できません。

6. アクセサリ　メニュー 6

2. 電卓

「アクセサリ」ー**「電卓」**

9桁までの割り算、かけ算、足し算、引き算ができます。
小数点2桁まで対応しています。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[6]▶[2]を押す**

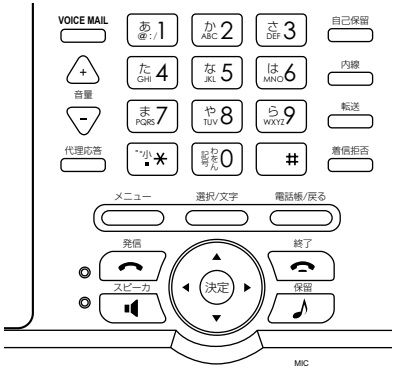
電卓画面を表示します。

2 **計算式を入力し、〈決定〉を押す**

結果が下の欄に表示されます。

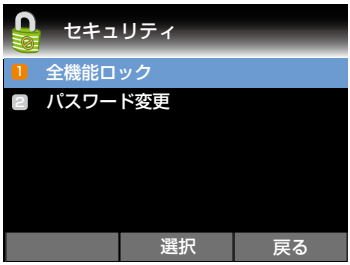
電卓で使用するキー

- [0]～[9]　：数字
- [＊]　：小数点
- [カーソルキー(上)]：×(かけ算)
- [カーソルキー(下)]：÷(割り算)
- [カーソルキー(左)]：＋(足し算)
- [カーソルキー(右)]：ー(引き算)
- 〈電話帳/戻る〉　：クリア
- [#]　：符号切替(プラス/マイナス)



7. セキュリティ　メニュー 7

VP-701で使用するパスワードなどについて設定する画面です。



1. 全機能ロック

「セキュリティ」ー**「全機能ロック」**

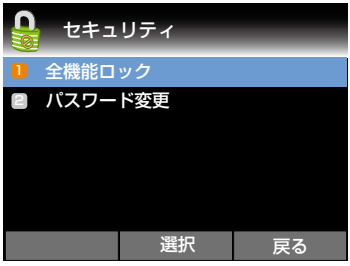
全機能をロックすると、VP-701を操作するときにパスワードが必要になります。
（出荷時の設定：解除）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[7]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」（出荷時の設定）を入力し、〈決定〉を押す**

セキュリティ画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊（アスタリスク）」で表示されます。



3 **[1][1]を押す**

全機能がロックされます。（音量調整を除く）

【解除するときは】
待受画面に戻ってから解除する場合は、何かボタンを操作する▶パスワードを入力▶待受画面▶〈メニュー〉▶[7]▶パスワードを入力▶[1]▶[2]を押します。

7. セキュリティ　メニュー 7

2. パスワード変更

「セキュリティ」ー**「パスワード変更」**

変更したパスワードが不明なときは、管理者設定画面にアクセスできなくなりますのでご注意ください。（出荷時の設定：0000）

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[7]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

セキュリティ画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。

3 **[2]を押す**

パスワード変更画面を表示します。

4 **パスワード変更画面で**
・旧パスワード
・新パスワード
・パスワード確認を入力し
〈決定〉を押す

※設定できるパスワードは、4桁です。
入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。

8. T:メール

メニュー 8

使用できません。

9. 環境設定

VP-701を使用するための初期設定や保守などについて設定する画面です。

1-1. 通話設定

「環境設定」ー「ユーザ設定」ー**「通話設定」**

VP-701ごとに着信拒否する電話番号と、ダイヤル入力時について設定できます。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[1]▶[1]を押す**

着信拒否番号画面を表示します。

2 **着信拒否する電話番号を入力し、〈決定〉を押す**

通話設定画面を表示します。
※着信拒否は5件まで登録できます。
相手先が内線のときは、話中音を流して切断します。
また外線のときは、〈外線キー〉は高速点滅(赤)しますが、ディスプレイは待受画面のままになります。

3 **[2]を押す**

ダイヤル入力設定画面を表示します。
※出荷時は、電話番号のあとに[#]を押すと、すぐに発信できるように設定されてます。

4 **カーソルキー(左右)で設定を変更し、〈決定〉を押す**

通話設定画面に戻ります。
※「なし」にすると、ダイヤル待ち時間を経過するまで発信しません。

1-2. フレキシブルボタン設定 「環境設定」ー「ユーザ設定」ー「フレキシブルボタン設定」

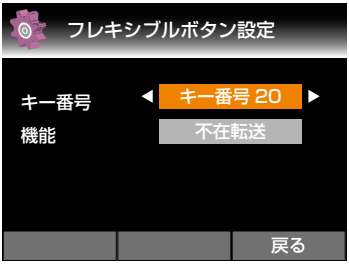
フレキシブルボタンに割り当てられた機能の確認と、ワンタッチで発信する電話番号を登録できます。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押す**

フレキシブルボタン設定画面を表示します。

2 **カーソルキー(左右)で**
キー番号01～24の設定内容を確認する

待受画面で、「不在転送」「不応答転送」「話中転送」の機能を割り当てているキーを長押しすると、転送先電話番号を設定できます。(→P43)



ワンタッチに登録するには

VP-701ごとに、ワンタッチで発信できる電話番号を登録できます。

①待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押す

フレキシブルボタン設定画面を表示します。

②カーソルキー(左右)で
ワンタッチ機能が割り当てられたキー番号を選択する

③[番号]に電話番号を入力し、「外線/内線」を設定して〈決定〉を押す

9. 環境設定

1-3. 電話帳の初期化

「環境設定」ー「ユーザ設定」ー**「電話帳の初期化」**

VP-701ごとに登録した個別電話帳の内容をすべて削除するとき使用します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[3]を押す**

削除画面(電話帳)を表示します。

2 **カーソルキー(左右)で、「はい」を選択し、〈決定〉を押す**

初期化するために、再起動を開始します。
※弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で登録した共用電話帳は削除されません。

2-1. ネットワーク設定

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「ネットワーク設定」**

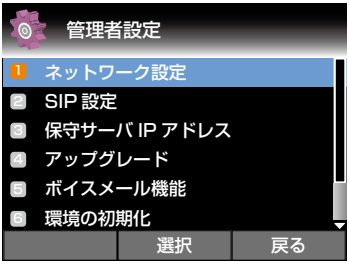
VP-701が使用するIPアドレスを設定します。　（出荷時の設定：DHCP（自動取得））

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」（出荷時の設定）を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊（アスタリスク）」で表示されます。



3 **[1]を押す**

ネットワーク設定画面を表示します。
※出荷時は、IPアドレスを自動取得するように設定されてます。
ご使用のネットワーク環境にDHCPサーバがないときは、手動でIPアドレス（固定IPアドレス）を設定してください。

4 **カーソルキー（左右）で「DHCP」/「固定IP」を選択し、〈決定〉を押す**

「DHCP」を選択したときは、管理者設定画面に戻ります。

「固定IP」を選択したときは、固定IPの設定画面になります。（→P16）

9. 環境設定

2-2. SIP設定

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「SIP設定」**

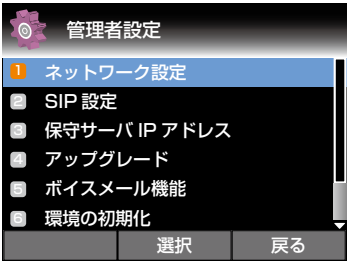
弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で登録したVP-701の内線番号を設定します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



3 **[2][1]を押す**

電話番号画面を表示します。
※弊社製VoIP機器でパスワードを登録した場合は、[ID]、[Password]欄に入力してください。

4 **弊社製VoIP機器で設定された電話番号(内線番号)を入力し、〈決定〉を押す**

設定されると、SIP設定画面に戻ります。

SIP設定画面のSIPサーバIPアドレス

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)登録完了後、設定情報を弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)から自動的に取得しますので、「SIPサーバIPアドレス」を設定する必要ありません。

2-3. 保守サーバIPアドレス

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「保守サーバIPアドレス」**

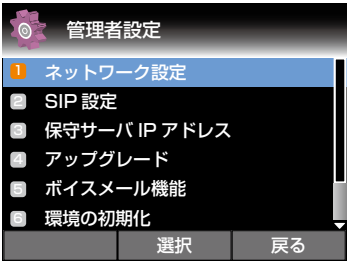
弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)のIPアドレスを設定します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。

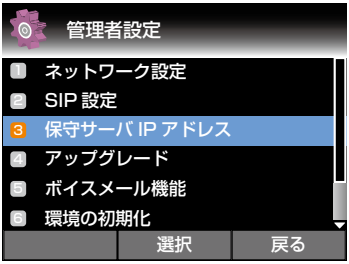


3 **[3]を押す**

保守サーバIPアドレス画面を表示します。

4 **弊社製VoIP機器のIPアドレス(LAN側)を入力し、〈決定〉を押す**

設定されると、管理者設定画面に戻ります。



9. 環境設定

2-4. アップグレード

「環境設定」ー「管理者設定」ー「アップグレード」

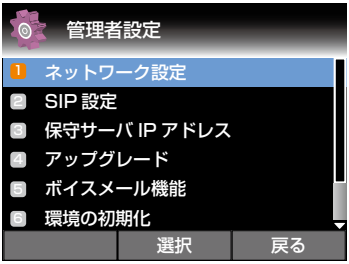
VP-701のファームウェアを更新するための設定です。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



3 **[4]を押して、表示されたサーバアドレス画面でサーバのIPアドレスを入力し、〈決定〉を押す**

アップグレード サーバー種類画面を表示します。

4 **サーバの種類を選択し、[1]を押す**

アップグレードを開始するため、VP-701は再起動します。
※説明には、「TFTPサーバ」を選択した場合　を使用しています。

2-5. ボイスメール機能

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「ボイスメール機能」**

VP-701のボイスメール機能(留守番電話)を使用するための設定です。
「有効」に設定すると、ボイスメールメニュー(→P57)で応答などを設定できるようになります。

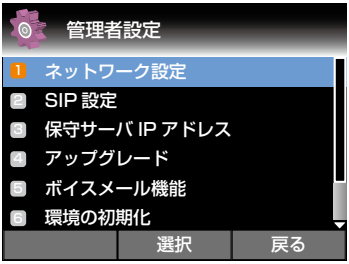
(出荷時の設定：無効)

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

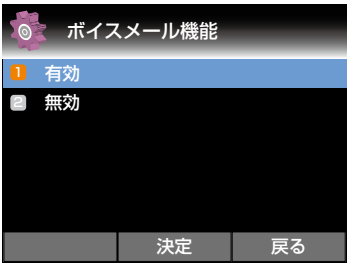
2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



3 **[5][1]を押す**

設定が有効になり、ボイスメール機能画面を表示します。



ボイスメール機能(留守番電話)が有効なときは

本体の〈VOICE MAIL〉を押すと、〈VOICE MAIL〉が点灯して、着信時に応答メッセージが流れるようになります。
応答メッセージの設定など、詳しくは59ページをご覧ください。
※一斉着信時にボイスメール機能を設定した電話機があると、ボイスメールで応答するため、ほかの電話機に着信しませんのでご注意ください。

9. 環境設定

2-6. 環境の初期化

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「環境の初期化」**

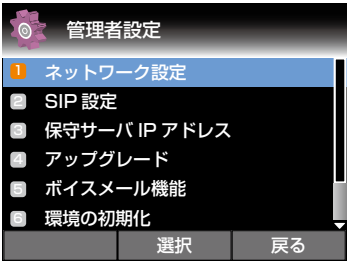
電話帳以外の設定を初期化するとき使用します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



3 **[6]を押す**

環境の初期化画面を表示します。

4 **カーソルキー(左右)で、「はい」を選択し、〈決定〉を押す**

初期化するために、再起動を開始します。

2-7. 工場初期化

「環境設定」ー「管理者設定」ー**「工場初期化」**

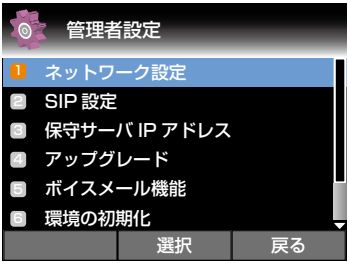
すべての設定を初期化するとき使用します。

1 **待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[2]を押す**

パスワード入力画面を表示します。

2 **パスワード「0000」(出荷時の設定)を入力し、〈決定〉を押す**

管理者設定画面を表示します。
※入力したパスワードは、「＊(アスタリスク)」で表示されます。



3 **[7]を押す**

初期化画面を表示します。

4 **カーソルキー(左右)で、「はい」を選択し、〈決定〉を押す**

初期化するために、再起動を開始します。

9. 環境設定　メニュー 9

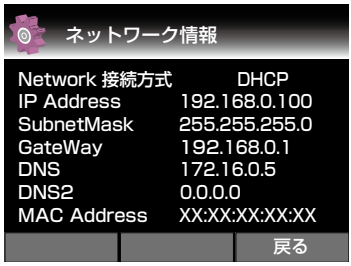
3-1. ネットワーク情報

「環境設定」ー「情報表示」ー**「ネットワーク情報」**

使用しているIPアドレスやVP-701本体のMACアドレスを表示します。

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[3]▶[1]を押す

ネットワーク情報画面を表示します。



※上図は、設定例です。

3-2. バージョン情報

「環境設定」ー「情報表示」ー**「バージョン情報」**

VP-701のバージョン情報を表示します。

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[3]▶[2]を押す

バージョン情報画面を表示します。

※上図は、表示例です。

4. 再起動

「環境設定」ー**「再起動」**

再起動すると、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の設定を更新できます。

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[4]を押す

再起動します。

機能の割り当て

第5章

この章では、
VP-701のフレキシブルボタン設定などについて説明しています。

Step1. 電話設定について …… 82
Step2. 共通設定について …… 84
　　特番設定…… 84
　　呼出音設定/電話設定 …… 85
　　多機能電話電話帳…… 86
　　設定グループ割当て…… 88
Step3. グループ別設定について …… 89
　　電話設定/フレキシブルボタン設定 …… 89

設定の更新について
弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で変更した設定をVP-701に反映させるためには、VP-701を再起動させる必要があります。

5 機能の割り当て

Step1. 電話設定について

下記の設定画面で変更した内容を、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に子機として登録したVP-701を再起動させてダウンロードします。
※通話などを切断して再起動を開始しますのでご注意ください。

共通設定

設定画面	設定項目	詳細
内線共通設定	特番設定	(→P83)
VP-701設定	呼出音設定	外線A～D/内線A～C
	電話設定	音量(送話音量/受話音量)
設定グループ割当て	内線子機	設定グループ1～20
多機能電話電話帳	多機能電話電話帳[共通]	300件

グループ別設定

設定画面	設定項目	詳細
VP-701設定	電話設定	ダイヤル待ち時間
		外線捕捉範囲
		外線発信キー(0～9、*、#)
		オフフック回線捕捉(内線/外線)
		オフフック外線応答(しない/する)
		着信優先順位(内線優先/外線優先)
		代理応答キー動作
		長時間保留の監視時間(自己保留)
	フレキシブルボタン設定	ボタン1～24(→P83)
多機能電話電話帳	多機能電話電話帳[グループ1～8]	100件

子機別設定

設定画面	設定項目	詳細
子機内線設定	子機内線設定	内線番号
		グループ番号
		パスワード
子機内線詳細情報設定	子機内線詳細情報設定	不在転送
		不在転送(夜間)
		不応答転送
		不応答転送(夜間)
		話中転送

更新できないときは
設定が更新できなかった場合、VP-701は、前回ダウンロードした設定をそのまま使用します。
弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)からVP-701を再起動させるときは、電源が入っていることをご確認ください。

特番設定(→P84)

設定項目	詳細
内線一斉発信番号	ほかの子機を一斉に呼び出すための番号
コールピックアップ※1	ほかの子機への呼び出しに応答できる番号
グループピックアップ※1	グループ内のほかの子機への呼び出しに応答できる番号
パークプレフィクス※2※3	パーク保留・応答するための番号
昼夜切替	昼間と夜間で、着信したときの動作を切り替えるための番号
電話回線発信番号	一般加入電話回線へ発信するための番号（特番＋電話番号）
SIPサーバ発信特番	指定したSIPサーバへ発信するための番号（特番＋電話番号）
不在転送特番※2	不在時に着信を転送させるための番号（特番＋転送先の電話番号）
不応答転送特番※2	不応答時に着信を転送させるための番号（特番＋転送先の電話番号）
話中転送特番※2	話中時に着信を転送させるための番号（特番＋転送先の電話番号）
音声呼出特番※2	着信先(VP-701)を音声で呼び出すための番号（特番＋内線番号）
外線着信用代理応答特番※2	着信している外線に応答するための番号
外線キー パークプレフィクス※2	外線通話を外線保留・応答するための番号
外線捕捉特番※2	外線発信時の外線を捕捉するための番号

※1　VP-701の〈代理応答〉を使用するために必要な設定です。(→P90)
※2　VP-701のフレキシブルボタンを使用するために必要な設定です。
※3　VP-701の〈保留〉を使用するために必要な設定です。

フレキシブルボタン設定(→P89)

下記は、VP-701のフレキシブルボタンに機能を割り当てるために必要な設定です。
※「未使用」を設定すると、そのボタンに機能を割り当てません。

機能	設定項目
外線キー	「外線設定」メニューの「サーバ接続設定」画面 ([着信内線番号]欄/[鳴り分け判別]欄) 「外線設定」メニューの「代表着信設定」画面 「外線設定」メニューの「発信グループ設定」画面の[発信グループ設定]項目 「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[SIPサーバ発信特番]欄 「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[外線着信用代理応答特番]欄 「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[外線キー パークプレフィクス]欄 「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[外線捕捉特番]欄
ワンタッチ	※VP-701本体のメニュー画面で電話番号を設定(→P71)
不在転送	「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[不在転送特番]欄
不応答転送	「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[不応答転送特番]欄
話中転送	「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[話中転送特番]欄
音声呼出	「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[音声呼出特番]欄
パーク	「内線共通設定」画面の[特番設定]項目の[パークプレフィクス]欄

Step2. 共通設定について

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の子機として登録する内線電話について設定します。

特番設定

「内線設定」→**「内線共通設定」**

弊社製VoIP機器に登録されたすべての子機で使用する特番です。

1 **弊社製VoIP機器の設定画面にアクセスする**

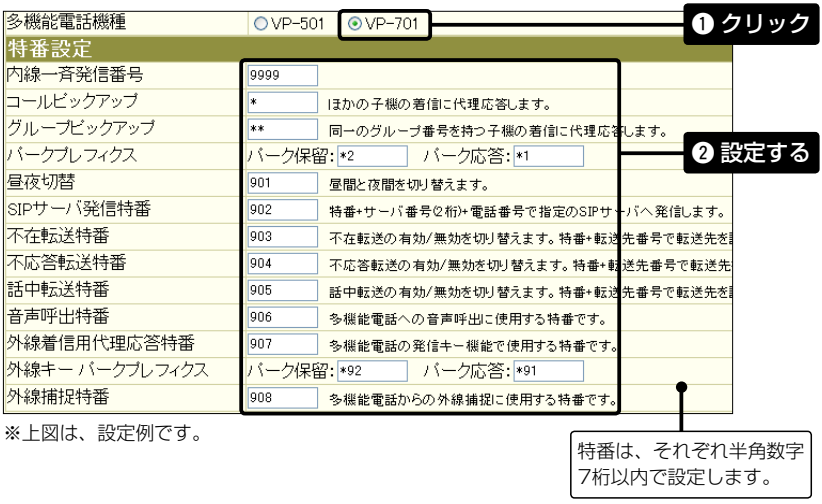
※アクセス方法については、ご使用の機器に付属する取扱説明書をご覧ください。

2 **「内線設定」メニューをクリックする**

「内線共通設定」画面を表示します。

3 **「VP-701」をクリックして、[特番設定]項目で特番を設定する**

設定するときは、内線番号やほかの特番と重複しないようにご注意ください。

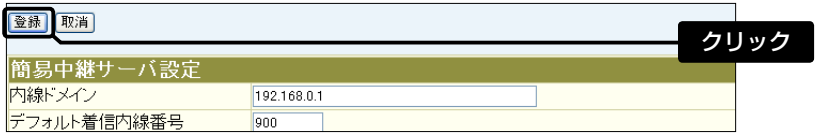


※上図は、設定例です。

4 **「内線設定」画面の〈登録〉をクリックする**

「多機能電話機の再起動が必要です。」が表示されます。

※VP-701が再起動するまで変更した設定内容は有効になりません。



呼出音設定/電話設定

「多機能電話設定」→「VP-701設定」

内線、外線から着信したときの呼出音、外線へ発信するキーなど弊社製VoIP機器に登録されたVP-701で共通に使用する設定です。

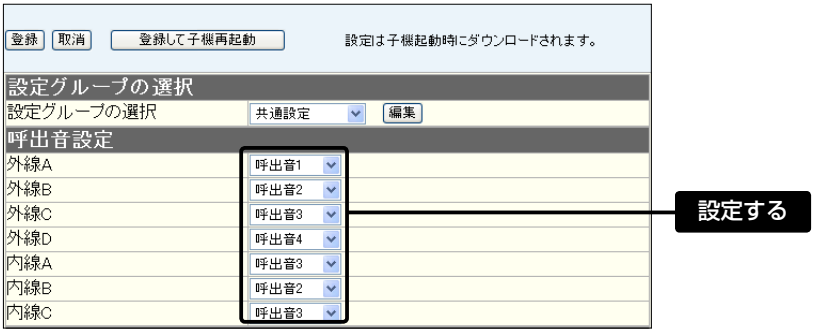
1 **「多機能電話設定」メニューをクリックする**

「VP-701設定」画面を表示します。

2 **[呼出音設定]項目で、VP-701に着信したときの着信音パターンを設定する**

着信音パターンは、「呼出音1～呼出音7、呼出音なし」から選択できます。

※鳴り分け判別(外線(A～D)／内線(A～C))は、「外線設定」メニュー(「サーバ接続設定」画面、「Peer to Peer設定」画面など)で設定します。



※上図は、設定例です。

※VP-701本体の着信音量を消去しているときは、無効な機能です。

3 **[電話設定]項目で、音量を必要に応じて設定する**

音量(送話側ゲイン/受話側ゲイン)を3dB刻みで調整します。

設定できる範囲は、「－21dB(最小音量)～+21dB(最大音量)」です。

(出荷時の設定：－6dB(送話音量)/0dB(受話音量))

※上図は、設定例です。

4 **〈登録〉をクリックする**

「多機能電話機の再起動が必要です。」が表示されます。

※VP-701が再起動するまで変更した設定内容は有効になりません。

Step2. 共通設定について

多機能電話電話帳

「多機能電話設定」→**「多機能電話電話帳」**

弊社製VoIP機器に登録されたVP-701で共用する電話帳です。

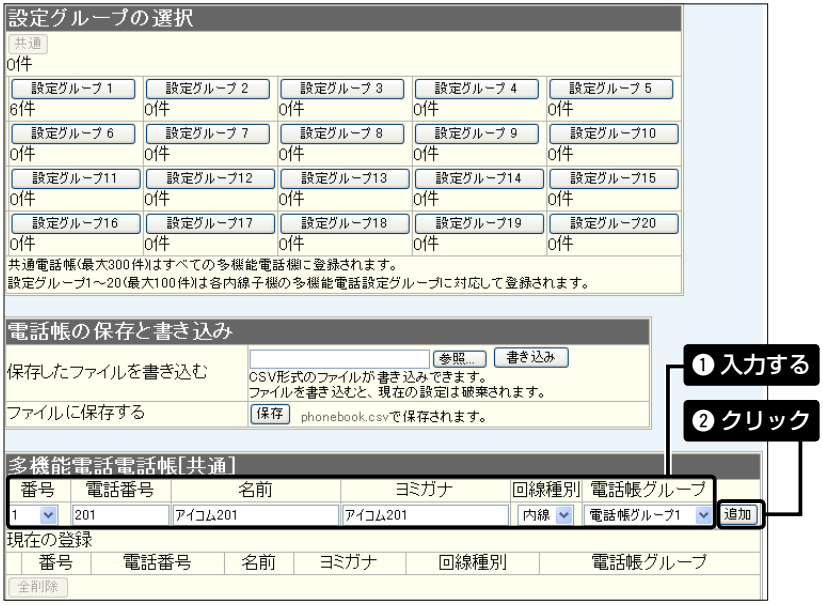
1 **「多機能電話設定」メニューの「多機能電話電話帳」をクリックする**

「多機能電話電話帳」画面を表示します。

2 **[設定グループの選択]項目で、設定するVP-701の「設定グループ(1～20)」または「共通」ボタンをクリックする**

[多機能電話電話帳]項目の内容が切り替わります。

3 **[多機能電話電話帳]項目で、相手先の電話番号など設定して〈追加〉をクリックする**



[番号]

電話帳に登録する番号を設定します。

設定できる範囲は、「1～300(設定グループの場合は1～100)」です。

【VP-701の短縮番号について】

共通電話帳の番号(1～300)は、VP-701本体ではそのまま短縮番号になりますが、設定グループの電話帳の番号(1～100)は、「301」からはじめる短縮番号になります。

※「401」からはじまる短縮番号は、VP-701ごとに登録した個別電話帳です。

[電話番号]
電話機からダイヤルする電話番号を入力します。

[名前]
相手の名前を任意の全角15文字(半角30文字)以内で入力します。

[ヨミガナ]
相手のヨミガナを任意の半角30文字以内で入力します。
※半角カタカナ、半角英数字が設定でき、全角カナは半角カタカナに変換されます。
※「ヨミガナ」が空白(何も設定していない)の場合、電話帳に登録できません。

[回線種別]
電話帳に回線の捕捉方法(内線/外線)を登録すると、電話帳から電話をかけるときに、回線捕捉方法を指定する必要はありません。
※回線種別を間違えて登録すると、発信できないことがありますのでご注意ください。

[電話帳グループ]
必要に応じて、VP-701本体の電話帳をグループ分け(電話帳グループ1～10)します。

4 **[現在の登録]項目で、登録内容を確認する**

5 **〈登録〉をクリックする**

「多機能電話機の再起動が必要です。」が表示されます。
※VP-701が再起動するまで変更した設定内容は有効になりません。

電話帳について
VP-701で使用できる電話帳は、弊社製VoIP機器で設定する共通電話帳(最大300件)、設定グループ電話帳(最大100件)と、VP-701ごとに登録できる個別電話帳(最大599件)で構成されています。

弊社製VoIP機器の電話帳を保存するときは
保存する電話帳を「設定グループの選択」項目で選択して、「電話帳の保存と書き込み」項目の〈保存〉をクリックします。

共用電話帳(共通電話帳/設定グループ電話帳)を更新したときは
〈子機再起動〉をクリックしてVP-701を再起動させ、変更した内容を更新してください。
また、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の「多機能電話機保守」画面の[定時再起動]項目で、使用していない時間を指定し、定期的にVP-701を再起動させて設定内容を更新することもできます。

Step2. 共通設定について

設定グループ割当て

「多機能電話設定」→**「設定グループ割当て」**

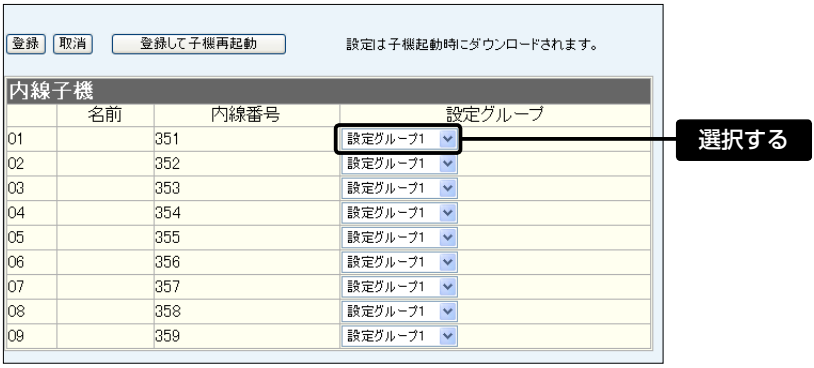
弊社製VoIP機器に子機として登録されたVP-701について、設定グループごとに電話帳やフレキシブルボタンを設定できます。

1 **「多機能電話設定」メニューの「設定グループ割当て」をクリックする**

「設定グループ割当て」画面を表示します。

2 **[内線子機]項目で、設定グループ(1～20)を選択する**

VP-701の外線保留を他の内線電話機で応答する場合は、「設定グループ」は同じ設定にしてください。



※上図のように「子機内線設定」画面で登録した子機を一覧で表示します。

3 **〈登録〉をクリックする**

「多機能電話機の再起動が必要です。」が表示されます。
※VP-701が再起動するまで変更した設定内容は有効になりません。

Step3. グループ別設定について

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の子機として登録する内線電話について、設定グループ(→P88)ごとに設定します。

電話設定/フレキシブルボタン設定

「多機能電話設定」→「VP-701設定」

設定グループごとに、外線捕捉範囲と〈外線キー〉を設定します。

1 **「多機能電話設定」メニューをクリックする**

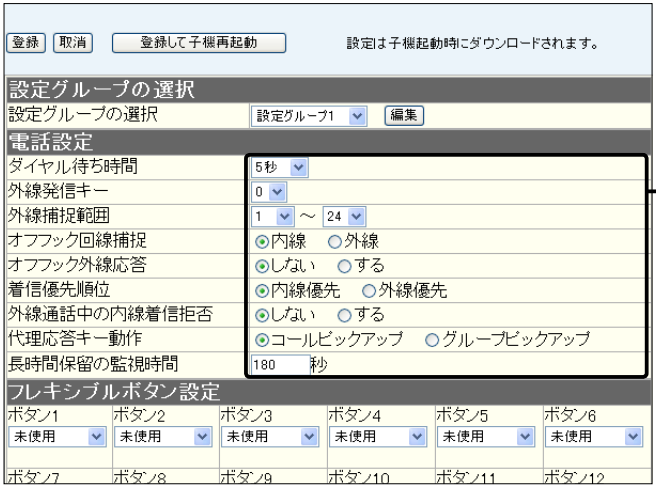
「VP-701設定」画面を表示します。

2 **[設定グループの選択]項目で、設定するVP-701の設定グループを選択し、〈編集〉をクリックする**

「VP-701設定」画面の設定項目が切り替わります。

3 **[電話設定]項目で、外線捕捉範囲(外線キー設定範囲)などを必要に応じて設定する**

弊社製VoIP機器の出荷時、捕捉範囲はフレキシブルボタン番号「1～24」に設定されています。
空いている回線を自動的に捕捉するために、〈外線キー〉の設定範囲を指定します。



[ダイヤル待ち時間]
ダイヤル操作中、設定した時間を過ぎて操作がないと発信を開始します。
設定できる範囲は、「1～60(秒)」です。 (出荷時の設定：5(秒))

次ページにつづく➔

Step3. グループ別設定について

電話設定/フレキシブルボタン設定　「多機能電話設定」→「VP-701設定」

3

[外線発信キー] (出荷時の設定：0)
空いている回線を自動的に捕捉して外線に電話をかけるための番号を、「0～9、＊、＃」から選択します。

[オフフック回線捕捉] (出荷時の設定：内線)
「内線」を設定すると、受話器を上げたとき内線発信音(ツーツー)が聞こえ、内線電話を呼び出せます。

[オフフック外線応答] (出荷時の設定：しない)
「する」を設定すると、外線から電話がかかってきたときに受話器を上げるだけで、外線からの電話に応答できます。

[着信優先順位] (出荷時の設定：内線優先)
「外線優先」を設定すると、外線からの電話を優先してVP-701に着信させます。
※外線からの電話はディスプレイに「着信中[キー番号]」を表示して、使用している回線を確認できます。

[外線通話中の内線着信拒否] (出荷時の設定：しない)
「する」を設定すると、外線通話時に内線からの着信を切断します。(Peer to Peer着信を含む)
※着信拒否や話中転送など、動作の優先順位については、96ページをご覧ください。

[代理応答キー動作] (出荷時の設定：コールピックアップ)
〈代理応答〉を操作したときの動作について設定します。
「グループピックアップ」を設定すると、同一のグループ番号を持つ子機の着信に対して代理応答できます。

[長時間保留の監視時間] (出荷時の設定：180(秒))
設定した時間を越えて自己保留をすると、警告音(プププ)を鳴らします。
設定できる範囲は、「30～1800(秒)」です。

4

[フレキシブルボタン設定]項目で、〈外線キー〉など必要に応じてボタンごとに機能の割り当てを設定する

〈外線キー〉と〈パーク〉を選択したときは、下部に詳細な設定項目が表示されます。

【VP-701本体の設定について】
ワンタッチ機能をフレキシブルボタンに割り当てたときは、VP-701本体で詳細な設定をします。

5 **〈登録して子機再起動〉をクリックする**

弊社製VoIP機器に登録されたすべてのVP-701が再起動して設定を更新します。

フレキシブルボタンの設定内容をVP-701で確認するときは

待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[1]▶[2]を押すと、マルチラインキー設定画面で各キーの機能の割り当てを確認できます。

フレキシブルボタンに発信グループ(スライド発信機能)を指定したときは

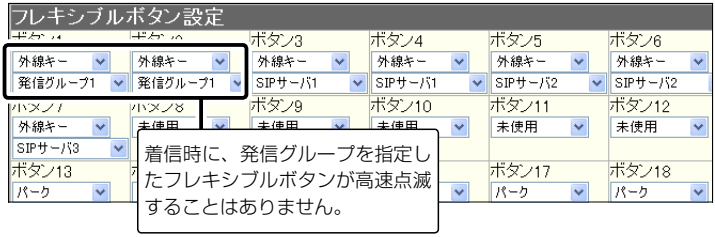
スライド発信機能(→P101)を割り当てたフレキシブルボタンで発信・通話した場合は、切断または転送するまで、フレキシブルボタンは点灯(赤)します。

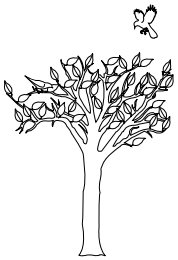
また、スライド発信機能を割り当てたボタンでは、外線保留や外線着信できませんので、発信グループに登録したSIPサーバも、〈外線キー〉に着信先として設定する必要があります。

【設定例】

スライド発信したい順番にSIPサーバを、「発信グループ設定」画面で登録します。(→P101)

発信グループと発信グループに登録したSIPサーバを、下図のように〈外線キー〉を割り当てたフレキシブルボタンに指定します。





ご参考に

第6章

この章では、
困ったときの対処法、仕様などを説明しています。

1. こんなときは …… 94
　登録・設定…… 94
　表示…… 94
　リコール(再呼出)…… 95
　こんな音がしたら…… 95
　外線通話中に内線から着信したときは…… 96
　着信拒否機能が有効なときは…… 96
　話中転送を設定したときは…… 96
2. 設定項目の初期値一覧 …… 97
3. アイコン一覧 …… 98
4. 機能一覧 …… 98
5. 外線設定について …… 99
　代表着信設定…… 99
　サーバ接続設定……100
　発信グループ設定……101
6. 定格 ……102
　一般仕様……102
　液晶表示部……102
　ネットワーク部……102
　コネクタ部……102
　その他……103

6 ご参考に

1. こんなときは

操作中の注意点などについて説明しています。

登録・設定

❶ 登録・設定作業を中止するには？

→ 登録・設定作業を中止するときは、受話器を上げます。

❷ 操作を間違えたときには？

→ 〈決定〉(または〈選択/文字〉)を押すまでは、何度でも入力しなおすことができます。
以前の画面に戻って設定内容を修正するには、修正する画面が表示されるまで、〈電話帳/戻る〉を押します。
修正する画面が表示されてから、入力しなおしてください。
また、設定内容を保存せずに中止する場合は、〈終了〉を押してください。

❸ IPアドレスを確認するには？

→ 待受画面▶〈メニュー〉▶[9]▶[3]▶[1]を押して、表示される「ネットワーク情報」画面で確認できます。
〈終了〉を押すと、待受画面に戻ります。

表示

❶ 名前と電話番号が電話帳に登録されているときは？

→ 着信時に相手の方の名前も表示されます。
ただし、着信時に通知される相手先のダイヤル情報と、電話帳に登録されている電話番号が完全に一致している場合、かつ内線/外線種別が一致している場合に限ります。

❷ どの〈外線キー〉に着信しているのか確認するには？

→ 着信時、ディスプレイに表示される「着信中[XXX(キー番号)]」で確認できます。

❸ LANケーブルがはずれているときは？

→ ディスプレイに「接続できません」と表示されます。

❹ 弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で設定した内容を間違って登録したときは？

→ VP-701の電源を入れたとき、または再起動したときに、「登録失敗しました」とディスプレイに表示します。

❺ IPアドレスを取得できないときは？

→ VP-701の電源を入れたとき、または再起動したときに、「接続できません DHCP接続が失敗しました」とディスプレイに表示します。

❻ IPアドレスの競合が起きているときは？

→ ディスプレイにIP障害画面が表示され、競合している相手のMACアドレスを通知します。

リコール(再呼出)

設定時間内に転送先が応答できなかったときは、転送元の電話機にリコール(再呼出)します。
外線や内線により、次のようにリコール(再呼出)時の動作が異なります。

ボタン	操作	リコール(再呼出)時			
		ディスプレイ	[着信]ランプ	着信音	フレキシブルボタン
〈外線キー〉	外線を保留する	電話番号(保留中の相手)、キー番号	点滅(赤)	外線D	高速点滅(緑)
〈パーク〉	パーク保留する	**RECALL**、キー番号	点滅(緑)		低速点滅(緑)
〈転送〉	外線を外線に転送する	電話番号(保留中の相手)、キー番号	点滅(赤)		高速点滅(緑)
	外線を内線に転送する				
	内線を外線に転送する	**RECALL**	点滅(緑)		――――――
	内線を内線に転送する				

こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける/受ける	ツーツー…(内線発信音)	受話器を上げたとき、または〈内線〉を押したとき	他の内線電話機を呼び出せます
	ツー(外線発信音)	〈外線キー〉を押したとき	外線へ電話をかけられます。
	プルルル…(呼出音)	外線または内線で相手先を呼び出しているとき	相手先を呼び出しています
	プープー…(話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の内線電話機が使用中のとき	話中です
	―	着信音が鳴らないとき	鳴動の設定がされていません
その他	ピピピピ…(受話器警告音)	受話器がはずれているとき	受話器がはずれています
	ピッ(操作音)	ボタンを押したとき	ボタンが押されました
	保留メロディ(保留音)	電話を保留したとき	電話が保留されています

6 ご参考に

1. こんなときは

外線通話中に内線から着信したときは

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側で、「外線通話中の内線着信拒否」を「する」にしたとき、VP-701ごとに設定した不在転送や話中転送は優先されます。
外線通話中の内線着信動作の優先順位は、下記のようになります。

1．不在転送（→P43）
2．話中転送（→P45）
3．外線通話中の内線着信拒否（→P90）
4．VP-701本体の〈着信拒否〉（→P5）
5．VP-701本体の着信拒否リスト(環境設定/ユーザ設定)（→P70）
6．不応答転送（→P44）

着信拒否機能が有効なときは

相手先が内線と外線で、下記のようにVP-701の動作が異なります。

回線	着信元	相手先
内線	待受画面表示のまま	話中音が流れ、切断されます
外線	待受画面表示のまま 無鳴動 〈外線キー〉高速点滅(赤)	呼出音が流れます

話中転送を設定したときは

内線で通話中に、他の内線電話機から着信したときだけ、設定した転送先へ転送します。
※内線で通話中の外線着信や外線通話中の内線・外線着信では動作しません。

2. 設定項目の初期値一覧

本製品の設定画面について、全設定を初期化したとき表示される各項目の初期値です。

設定項目		初期値	
1：音設定	1. 着信音設定	種類：着信音	音量：レベル3
	2. 通話音量設定	種類：受話器	音量：レベル3
		種類：スピーカ	音量：レベル3
	3. 操作音設定	種類：操作音(固定)	音量：レベル3
2：スケジュール	1. スケジュール	データなし	
	2. メモ帳	データなし	
3：画面設定	1. 待受画面	パターン1	
	2. 明るさ調整	60%	
4：ボイスメール	1. 設定/解除	解除 ※ボイスメール有効時のみ選択可(設定/解除)	
	2. 受信履歴	データなし	
	3. 案内メッセージ選択	標準メッセージ	
	4. セルフメッセージの録音	データなし	
5：電話帳	1. 電話帳検索	短縮番号検索/ヨミガナ検索/電話番号検索/グループ検索	
	2. 電話番号登録	データなし	
	3. グループ管理	データなし (グループ1～グループ10)	
6：アクセサリ	1. アラーム	データなし (アラーム1～5)	
	2. 電卓		
7：セキュリティ	1. 全機能ロック	解除(設定/解除)	
	2. パスワード変更		
8：T:メール			

設定項目				初期値
9：環境設定	1. ユーザ設定	1. 通話設定	1. 着信拒否設定	データなし (番号1～番号5)
			2. ダイヤル入力設定	#(#/なし)
		2. フレキシブルボタン設定	キー番号/機能	データなし (番号1～番号24)
		3. 電話帳の初期化	はい/いいえ	
	2. 管理者設定	1. ネットワーク設定	DHCP/固定IP	DHCP
		2. SIP設定	1. 電話番号	データなし
			2. SIPサーバIPアドレス	IPアドレス:0.0.0.0 Port:5060
		3. 保守サーバIPアドレス	IPアドレス	0.0.0.0
		4. アップグレード アップグレード サーバ	サーバアドレス 種類 (TFTPサーバ/FTPサーバ)	0.0.0.0
		5. ボイスメール機能	有効/無効	無効
		6. 環境初期化	はい/いいえ	
		7. 工場初期化	はい/いいえ	
	3. 情報表示	1. ネットワーク情報		
		2. バージョン情報		

3. アイコン一覧

本製品のディスプレイで表示されるアイコンの一覧です。

着信履歴／発信履歴

着信表示	発信表示	不在着信表示

ボイスメール受信履歴(留守番電話機能)

確認済み	未確認

機能設定表示(待受画面)

アラーム	着信拒否	セキュリティ	未確認あり(ボイスメール)

電話帳新規登録

名前	ヨミガナ	電話番号	外線/内線	グループ

4. 機能一覧

■ 電話関連

- スピーカーホン
- 音量調整
- 保留
- 転送
- 短縮番号
- ピックアップ
- 自動応答
- 着信拒否
- 相手番号表示
- 電話帳(10グループ/999件※)
- 発信履歴/着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- 呼出音(64和音/メロディー8種類/呼出音7種類)
- 応答メッセージ録音機能(約30秒)

■ その他

- アラーム(5件)
- 時計/カレンダー
- 電卓
- パスワード保護
- スケジュール(1日4件/120件)
- メモ帳(全角80(半角160)文字/10件)

※VP-701で使用できる電話帳は、弊社製VoIP機器で設定する共通電話帳(最大300件)、設定グループ電話帳(最大100件)と、VP-701ごとに登録できる個別電話帳(最大599件)で構成されています。

5. 外線設定について

代表着信設定

「外線設定」→**「代表着信設定」**

代表着信内線番号に一斉着信したとき、その着信に該当するグループに登録した内線番号の中から、鳴動する電話機を弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)で指定できます。

1 **「外線設定」メニューの「代表着信設定」をクリックする**

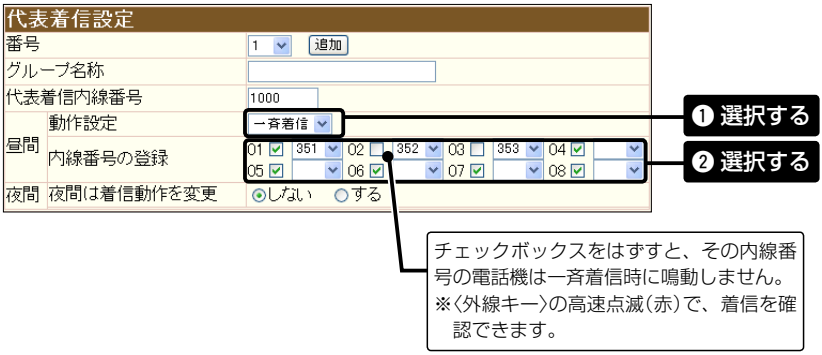
「代表着信設定」画面を表示します。

2 **[代表着信設定]項目で、グループの名称と代表着信内線番号を入力する**

代表着信番号は、「サーバ接続設定」画面で着信内線番号として登録します。(→P100)

3 **[動作設定]欄で「一斉着信」を選択し、グループに登録する内線番号、その中から鳴動する内線番号を選択する**

※VP-701以外の電話機では、この設定は無効になります。



[動作設定]

順次着信 :「1」のテキストボックスに登録された内線電話が最初に着信しますが、通話中の場合は、次の番号に登録された内線電話に着信します。

巡回着信 :「1」のテキストボックスに登録された内線電話が最初に着信しますが、次回着信があったときは、次の番号に登録された電話機に着信します。
その電話機が通話中の場合だけ、その次の番号の電話機に順次着信します。

一斉着信 :代表着信グループに登録された内線電話が一斉に着信します。

4 **〈追加〉をクリックして、[現在の登録]項目での登録内容を確認する**

5. 外線設定について

サーバ接続設定

「外線設定」→**「サーバ接続設定」**

簡易中継サーバの子機として、簡易中継サーバ(親機)に接続する場合を例に、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)のサーバ接続設定について説明します。

※簡易中継サーバ(親機)は、内線ドメインなどが設定されているものとします。

1 **「外線設定」メニューの「サーバ接続設定」をクリックする**

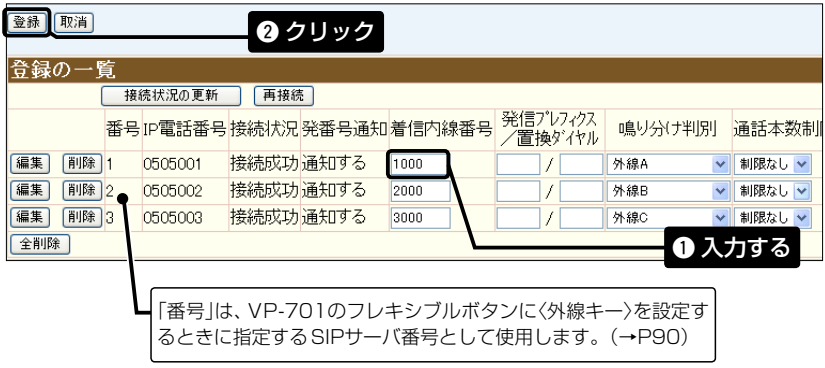
「サーバ接続設定」画面を表示します。

2 **[SIPサーバ接続設定]項目で、簡易中継サーバ(親機)の設定内容(IPアドレス、内線番号およびパスワード)を入力し、〈追加〉をクリックする**

[SIPサーバ接続設定]項目の各欄については、ご使用の弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の取扱説明書をご参照ください。

3 **[登録の一覧]項目で、代表着信内線番号(または着信する子機の内線番号)を「着信内線番号」に入力し、〈登録〉をクリックする**

※外線ごとの鳴り分け判別は、この[登録の一覧]項目で設定します。



代表着信内線番号について

着信するグループに設定した「代表着信内線番号」は、別の着信グループの内線番号に登録できます。

【設定例】
- 内線番号「201」/「202」/「203」　代表着信内線番号「200」/「順次着信」
- 内線番号「301」/「302」/「303」　代表着信内線番号「300」/「順次着信」
- 内線番号「401」/「402」/「403」　代表着信内線番号「400」/「順次着信」
- 代表着信内線番号「200」/「300」/「400」　代表着信内線番号「700」/「一斉着信」

発信グループ設定

「外線設定」→「発信グループ設定」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に登録した複数のSIPサーバで、スライド発信するためのグループと、グループ発信プレフィクスを設定します。

※グループ発信プレフィクスは、内線番号や特番と重複しないようにご注意ください。

1 **「外線設定」メニューの「発信グループ設定」をクリックする**

「発信グループ設定」画面を表示します。

2 **[発信グループ設定]項目で、グループ発信プレフィクスを4桁以内の数字で入力する**

登録するグループごとに設定が必要です。

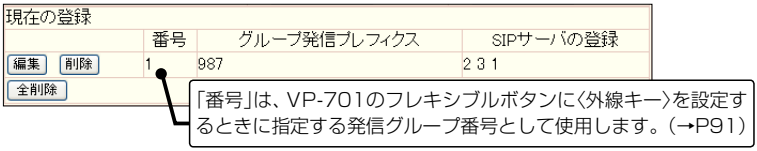
3 **[発信グループ設定]項目で、グループに登録する発信先のSIPサーバを選択し、〈追加〉をクリックする**

テキストボックスに登録した順番で、SIPサーバへスライド発信します。

※あらかじめ、「サーバ接続設定」画面で発信先のSIPサーバを登録しておく必要があります。

4 **[現在の登録]欄で、登録した内容を確認する**

[SIPサーバの登録]に表示される数字は、「サーバ接続設定」画面で登録した番号です。



スライド発信機能について

[SIPサーバ登録]欄の「01」のテキストボックスに登録されたSIPサーバへ最初に発信しますが、SIPサーバから応答がない場合、または発信に対してSIPサーバからスライド許可レスポンスが返答された場合は、次の番号に登録されたSIPサーバへ発信します。

6. 定格

一般仕様

外形寸法：180.3mm(W)×272.0mm(D)×87.1mm(H)※
（スタンドおよび突起物を除く）
重量：約890g(本体)／約200g(受話器)
使用環境：温度0～45℃、湿度10～85% (結露状態を除く)
電源：PoE（IEEE802.3af準拠）または別売品のACアダプター
適合規格：クラスA情報技術装置(VCCI)
操作面傾斜角：8度または25度(スタンドの取り付け/取りはずしにより変更)

※付属のスタンドを取り付け、液晶表示部を45度に傾けた場合の外形寸法は、180.3mm(W)×272.0mm(D)×182mm(H)です。

液晶表示部

表示器：3.5インチ　デジタルTFT
解像度：320×240ピクセル／1677万色
バックライト：白色／輝度可変
チルト角：0～45度

ネットワーク部

対応規格：IEEE802.1p/IEEE802.3/IEEE802.3u
対応プロトコル：TCP/IP、UDP、ICMP、DHCP、NTP/ SNTP、HTTP
QoS　：DiffServ(DSCP marking)、TOS、Packet Loss Concealment
Data Stream：RTP(RFC 3550)、RTCP(RFC 1889)
シグナリングプロトコル：SIP（RFC3261）
エコーキャンセラー：G.167 Acoustic Echo Canceller

コネクタ部

電源：φ2.5 A型
ネットワーク：RJ-45 ×2※
受話器：RJ-11 ×1

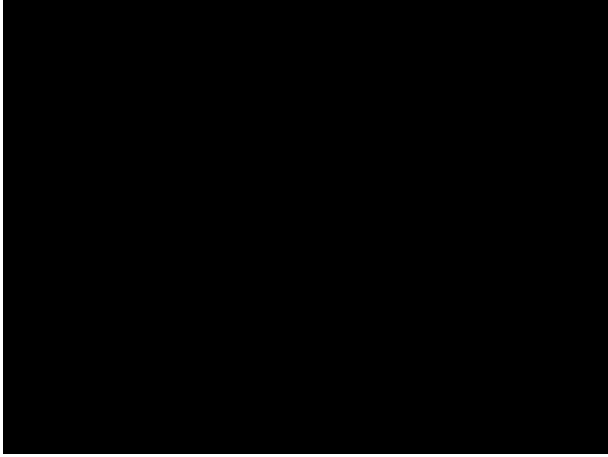
※[LAN]ポートのみPoE（IEEE802.3af準拠）対応しています。

※定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

その他

表示ランプ：電源(赤)、VOICEMAIL(橙)、スピーカ(青)、発信(緑)、フレキシブルボタン(緑/赤)
操作ボタン：数字(12個)、回線(24個)、機能(19個)
スピーカ：ダイナミック型 8Ω 1W ×1
マイク：エレクトレットコンデンサー型 ×1

高品質がテーマです。



アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A-6646-3J © 2008 Icom Inc.